

## いま巻き起こる! ニューヤマハ旋風

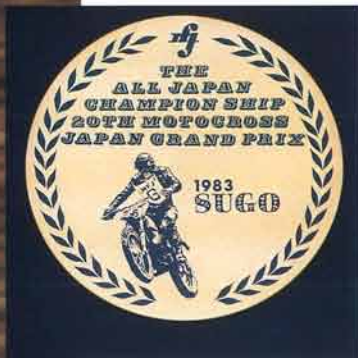
'84スノーモビル & 除雪機





●83全日本選手権シリーズ第11戦  
第20回モトクロス日本グランプリ大会

# 庄司 覚が 125CCチャンピオンを決める!



←  
レースを重ねるにつれ円熟さを増す庄司は、このレースも終始安定したパワーを発揮してシリーズ・チャンピオンを決定。地元ファンを狂喜させた



シリーズ2位の大関との握手。その表情には昨年のチャンピオン相手に29ポイントの大差をつけた自信がみなぎっていた



最高のコンディションとなったスポーツランドSUGOのモトクロスコースは、2万5000人の大観衆で埋めつくされた





'83モトクロス全日本選手権シリーズの掉尾を飾る第20回モトクロス日本グランプリ大会が10月15、16の両日、スポーツランドSUGOで開催され、2万5千の大観衆を集めて、モータースポーツの人気の盛り上りを裏付けました。

このグランプリ大会のハイライトは、'83全日本シリーズ・チャンピオンの行方と、'83世界選手権シリーズ・500ccクラスのチャンピオンに輝くスウェーデンのハカン・カルキビストをはじめアメリカ、オーストラリア、中華人民共和国からの外人選手多数の参戦にあり、全国各地のファンを引き寄せました。

なかでも注目の国際A級125ccクラスは、ヤマハワークスの庄司寛が活躍。これまでの10戦を通じて、すでにポイントで他の選手に大差をつけていたとはいえ、庄司はパワーをみなぎらせて快走。第1ヒート終了の時点で早くもシリーズ・チャンピオンを決め、ファンの期待に答えました。

続く第2ヒートでは、日本人ライダーのトップを切り、外人ライダーに伍して健闘し、さらに15ポイントを追加。年間ランキング第2位の大関昌典に29ポイントの差をつける223ポイントを獲得し、来シーズンは栄光のゼッケン①でレースに臨むことになりました。





# 走り快調! ヤマハスクーター

# JOG & ACTIVE

ニュー・テレビCF  
全国23局ネットで  
ONエア開始!

軽快な走りのジョグと機能美を追求したアクティブのニュー・テレビCFが、この11月からオンエアされます。アメリカのロスアンゼルスを舞台に撮影した2本のCFは、ともに抜けるような青空の下での走りを中心にまとめたもの。楽しく、いきいきと、スポーティに繰りひろげられるスクーターライフを、徹底的に印象づけてまいります。



※ヤマハの提供番組「月曜ロードショー」は、毎週月曜日の午後9時より以下のネットで放映されております。

- |                 |                  |                  |                 |
|-----------------|------------------|------------------|-----------------|
| 北海道…北海道放送 (HBC) | 東京…東京放送 (TBS)    | 島根・鳥取…山陰放送 (BSS) | 熊本…熊本放送 (RKK)   |
| 青森…青森テレビ (ATV)  | 山梨…テレビ山梨 (UTY)   | 岡山…山陽放送 (RSK)    | 大分…大分放送 (OBS)   |
| 岩手…岩手放送 (IBC)   | 静岡…静岡放送 (SBS)    | 広島…中国放送 (RCC)    | 宮崎…宮崎放送 (MRT)   |
| 宮城…東北放送 (TBC)   | 石川…北陸放送 (MRO)    | 高知…テレビ高知 (KUTV)  | 鹿児島…南日本放送 (MBC) |
| 新潟…新潟放送 (BSN)   | 名古屋…中部日本放送 (CBC) | 福岡…毎日放送 (RKB)    | 沖縄…琉球放送 (RBC)   |
| 長野…信越放送 (SBC)   | 大阪…毎日放送 (MBS)    | 長崎…長崎放送 (NBC)    |                 |



# 〈特集〉いま巻き起こる! ニューヤマハ旋風 '83パリショー・グラフィレポート



70<sup>e</sup> selon  
**CYCLE MOTO VOITURETTE**  
 l'union VOITURES 4x4 et de PLEIN AIR  
 du 1 au 9 octobre 1983  
 EXPOSITION NATIONALE  
 des VOITURES D'OCCASION

世界中のバイク・ファンの熱い視線が集まる「'83パリショー」。ヨーロッパ向けの'84ニューモデルが出揃う注目のモーターサイクルショーは、この10月1日から9日まで9日間にわたって、フランスの首都パリで開催されました。

ヤマハでは、このショーに14車種の'84ニューモデルを出展。ヤマハの誇る最新技術を存分に生かした新鋭機種投入で、熱き走りへの期待に応え、大きな反響を巻き起こしたのでした。



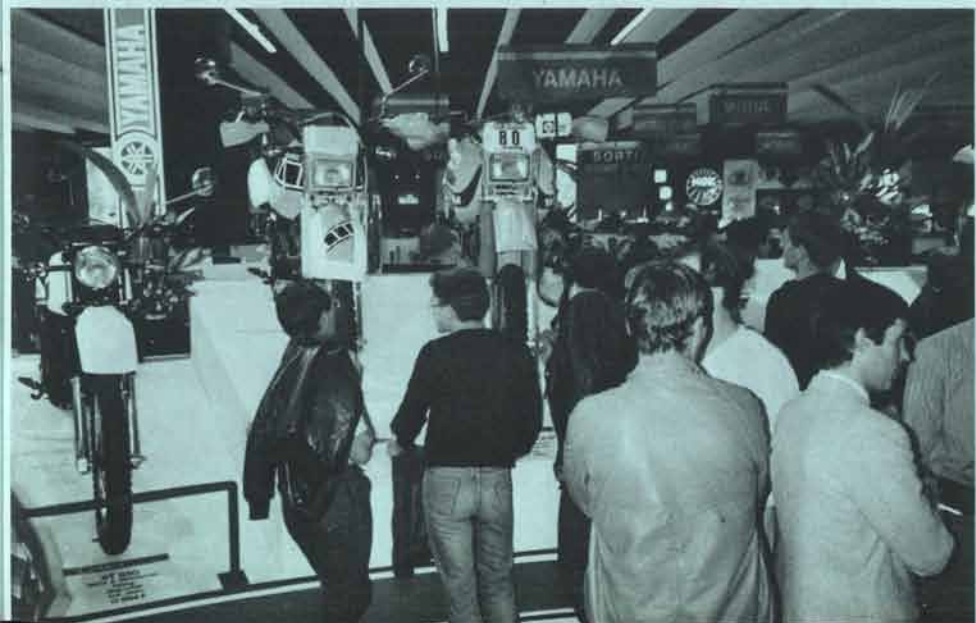




森永国彦技術担当取締役とG・アゴスティーニを囲むRD&ケニーと、DT&カルキピストのスーパースターもパビリオンに駆けつけた

さすが「耐久レース」のお国柄だけあって、DOHC16バルブ・エンジン、ユニークなラテラルフレーム採用のFJ1100はパビリオンに大モテだった

パライダーカール仕様車とともに並べられたXT600テネレは、オフロードの頂点モデルとして大きな関心を集めていた



'83パビリョーの舞台となったのは、パブリ内のはずれにあるポルト・ド・ウェルサイユという小さな町です。  
会場は2つの館に分かれて、その中の構成は自転車（主にサイクリング・スポーツ用）とその部品、モーターサイクルとその部品、四輪車とその中古展示即売、というセクションで成り立っています。  
そして、2つの館を隔てる中央の広場では、ヤマハのPW50を使つての子供たちのための運転指導も実施。なんと、この指導についてはパブリ警察のスタッフがあたり、なかなかの盛況ぶりを見せていたものです。  
さて、注目のヤマハのブースですが、ここ

には14車種の'84ニューモデルが並べられ人気を博しました。それらのモデルを簡単に紹介しましょう——  
○FJ1100/パワーウェイト比の向上を最大のターゲットとして開発した、耐久ロードレーサーのイメージそのままのクオリティ・スーパーマシン。  
○XVZ12TD/ロングツアーに必要な機能と装備をもつ本格的ロングクルージングバイクの最高峰モデル。  
○RD500LC/2ストローク・ファン待望の500ccマシン。走り本位に設計、開発した、市販車最強の瞬発力を誇るYZRをレプリカしたストリートバージョン。

○DT125LC/市販モトクロッサーYZを彷彿させるダイナミックな仕上りで、ハイパフォーマンスなライトウェイトのスーパーモデル。  
○XJ900・750・600/スーパーパスポート&スーパーアララーの両パフォーマンスを満したクオリティマシン。  
○TY250/タイトルコンテスターに名乗りを上げた本格トライアルマシン。前後の照明系統が標準装備。  
○TZ250/エンジン、フレーム、足回りをさらに強化して、'83チャンピオンマシンのポテンシャルをグレイドアップ。  
○YZ490・250・125・80/世界の

モトクロスレース・シーンで活躍するワークス・マシンに直結の技術の粋を集めた市販モトクロッサー。  
○YT60/ローメンテナンスのパワートレインを装備したジュニア向けのレジャースポーツ3ホイラー。  
もちろん、会場内の2輪コーナーのなかで最も話題を集めていたのは、レーシーな雰囲気でも統一されたヤマハのブースに他なりません。見学者は、一段高く掲げられたRD500LCや、FJ1100を見つけると、「アレだ、アレだ」とこぞつてその周囲に集まり、喰い入るように時を忘れて眺め続けていたのです。

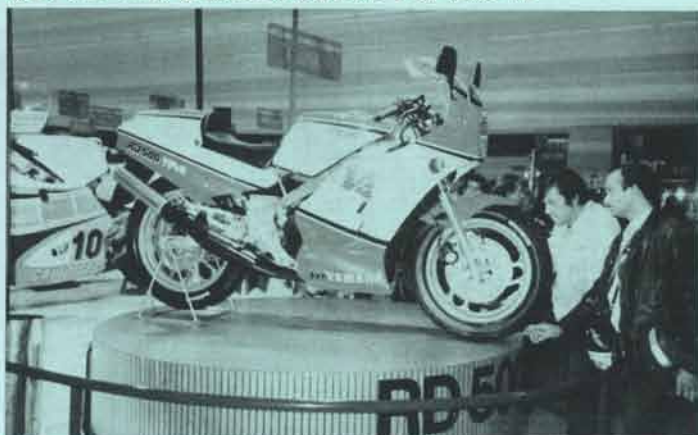


# 〈特集〉いま巻き起こる！ ニューヤマハ旋風 —— '83パリショー・グラフィレポート



エアロダイナミクス特性をきわめたヤマハの洗練されたデザインに対する評価は、ひとときヨーロッパで高い

喰い入るように時を忘れてじっと見つめるバイク・マニアたち。V4水冷の熱きメッセージは、彼らの心に深く浸みわたっていたのだった





# ここに期待!

## スポーツショップが語る '83パリショー出展モデル評価

ホットなヨーロッパ向け'84ニューモデルが発表された'83パリショーですが、さて、スポーツバイクを拡販する販売店さんの反応はどうでしょうか。以下は、ツーリングやレースや安全普及に力を入れるスポーツショップさんの印象。早くもお店の周辺では、来年度の国内向けニューモデルの予測でもちきりでした。

### 国内の目は やっぱRZ500

バイクライフ・トモ  
(千葉県千葉市)

吉原 朋正社長

パリショーのモデルを見て感じたのは、やっぱりヤマハはやるのが違うな、ということですよ。マニアところをくすぐるフィーリングが、今回のニューモデルからは感じられました。マーケットを意識しすぎて妥協したよう



冷・前輪ディスク装備のDT1255LCと、V4で大排気量の2サイクル・スーパースポーツRD500LCです。

いまはモトクロスチームしかないけど、来年からはロードレースのチームも発足させて、僕もXJ400ZSでF3レースの国際B級に出場しようと思っていたところ。ロードレーサーの一人として、ぜひRD500LCには乗ってみたい。早くもお客さんからオーダーがある程で、ここ当分はV4フィーバーが続くものと楽しみにしているんです。クルマの世界では、'限定発売'がはやっているけど、RD500LCなんかは、'限定'にしたっていいかもしれない。テネレだっけ結構売れちゃいましたし、雰囲気盛り上げ方次第では500ccでもかなりオーダーは来ると思いますよ。

なバイクじゃないところがいいですね。

うちの商売

という点で考

えると、目玉

はやっぱり水

### RZ500なら ナナハン派も脱帽!

株スポーツショップ・イシイ  
(東京都江戸川区)  
石井 重行社長



RZの500、しかもV4水冷となれば、誰だって欲しくなるんじゃないですか。いえ、マ

ニアの立場から言ってるんじゃないんですよ。ちゃんと販売する立場で言ってるんです。だって、RZ250を発売して以後、確実にヤマハは2スト・ファンを育ててきたわけでしょう。初期のRZにとびついたアタリ!

マニア層なんかは、ちゃんと大型の資格を持っている。ナナハンに乗っている連中だっけ走り屋がほとんどだから、無視はできない。マーケットは充分にあるんですよ。

4サイクルは楽だといっても、現状のナナハンはみんな重い。RZの500は軽くて、パワーが大きければ、こっちの方が速いに決まっている。500と400の2本立てという読みも一部ではあるけど、僕としては500だけだっけいいときえ思っているんです。レベルの高い人だけが乗れるマシン、まさに2ストの頂点ができたわけですよ。そうして500を売り切った段階では、それまで指をくわえてた層のために400を出したっていいじゃないですか。

今日、林道ツーリングでテネレを初めて乗ったけど、排気量の問題だけじゃなくてすごく乗りやすいわけ。だから、実際に乗せなくちゃいけないんですよ、スポーツは特にネ。

### スポーツ志向の強いバイクが出て当然!

オオタニモータープロダクト  
(東京都板橋区)  
大谷 吉一社長



欲しいですね。僕のためにもRD500LCは絶対に国内販売してもらいたい。あんまり発売時期が遅れるようだったら、逆輸入してでも手に入れたいですね。

とにかく、ヤマハらしくていいじゃないですか。そのレーシーな雰囲気といい、V4水冷2ストロークのメカニズムといい、やはり「速いバイク」というニーズは、圧倒的に多いわけですから、それを無視するわけにはいきませんよ。ただし、それだけに売る側、乗る側としての責任の度合も増えてくるのは止むをえない。

### もはやフルカウリングの時代ですネ!

ライダーズエージェンツ・オオツカ  
(愛知県豊橋市)  
大塚 茂春社長



すごく印象的ですね。まだ雑誌でしか見ていないですが、FJ1100もRD500LCも

魅力がいっぱい。そのスペックは興味ありますね。私はF1レースに出ています、どちらかというと個人的にはFJ1100に、より関心を持っているんです。角フレームにチェーンドライブ、前後サス、ハーフカウルのすべてに惹かれちゃいますね。

RD500LCは、V4水冷とまるでYZRそのもの。これが日本でも発売されれば、すごいですよ。まさに走ることに徹したバイク。どんな人が飛びつくのだからかと、チョッピリ不安もあるけれど、それほどレーシーなバイクに仕上げた大胆さが気に入りました。当然、東京モーターショーでは、これらのモデルが出展されるでしょうから、ぜひ見に行きましょう。お客さまと7、8人で一緒に出かけ、見に行けなかったお客さまにはアルバムを作ったり、パネルにプリントして話題をもり上げていこうと考えているんです。

安全運転指導はもちろんのこと、スポーツ志向の強いイベントをどんどん組んで、お客さまを引っっぱって行ってあげなければいけないでしょうね。

うちでは2カ月に1回、筑波で走行会を開催したり、トライアルでは大谷カッパという競技会を開いています。来年はもっと楽しめる場所をお客さまに提供していかなければ間に合わなくなりそう。DT1255LCや、前照灯付きのTY250なんかも出てくれば、いちだんとお客さまの層が広がりますよ。



# 【特集】いま巻き起こる！ ニューヤマハ旋風

## 話題騒然！

### センセーショナルに評価した 内外バイク専門誌



’83パリショーで登場したヤマハのレーシー感覚なヨーロッパ向け’84ニューモデルは、パリはもちろんのこと全世界で話題を賑わせています。こちらは、国内・外のバイク専門誌に見た反響の数かず。バイクファンの熱いハートに応えたニューヤマハの旋風は、いずれも高い評価を受けていたのです。

#### モーターサイクルニュース(イギリス)

「スーパーバイク・センセーション」と題して紹介されたFJ1100は、耐久レースとして高い評価を受け、ヤマハのこの分野への進出を賞賛。一方、RD500LCについては、「84年度の主導権を握るバイク」とうたい、「1000ccと同等のパワー(予測)に対する期待がこめられていました。」

#### モーターサイクルウィークリー(イギリス)

モーターサイクルウィークリーではRD500LCに対して論評、「モーターサイクルの歴史の中で最も驚異的なストリートマシン」と絶賛しています。

#### メカニクス(イギリス)

メカニカルな話題満載のメカニクスは、RD500LCのことを「まるでケニーのマシンみたい！」と賞賛。公道用のグランプリレーサー」というオーバーな表現で、そのハイメカニズムを解説しています。

#### モトジャーナル(フランス)

さすがに地元で行なわれただけあって、パリショーでの評価を中心に解説。やはり話題の中心はRD500LCで、パリショーで最も注目を集めたV4水冷エンジンのパワーと、そのレーシー・マインドに歓迎の意を表わしていたのです。

#### オートバイ・臨時増刊号(日本)

モーターショー特集号としてまとめられたこの本では、RD500LCを「市販車最強スプリントマシン」、FJ1100を「F・Rとも16インチのジェットマシン」、DT125LCを「ちょっと前の250cc並みの強力マシン」と称して紹介しています。

#### 月刊オートバイ(日本)

「フルカウルが装備されたスタイルやエンジン仕様、サスペンション、タイヤ、ブレーキなどのプロフィールは、どこを見てもYZR500のレプリカ版と呼ぶにふさわしい」と期待されるRD500LC。「国産最高パワーのビッグ・スバルタン」のFJ1100や「Fデイスクとニューモノサスで、さらにモトクロスサーに近づいた」DT125LCにも期待を寄せています。

#### モーターサイクリスト(日本)

やはり注目の的はRD500LCとFJ1100とDT125LCで、RDに対しては「ロードレーサーにヘッドライトとウインカーをつけたようなもの」、FJに対しては「まるでジェット戦闘機のようなイメージのフェアリングをもつビッグモンスター」、DTに対しては「フロントブレーキにこのクラス初の油圧ディスクの採用など、光った存在だ」と絶賛しています。

#### ベストバイク(日本)

YZRレプリカ？ RD500LCにはほとんど絶句ノ」とタイトルされたこの解説では、「ついに発表されてしまったのだ。2ストローク、水冷V4、500cc。史上最強のスーパースター」とRD500LCを紹介。FJ1100の紹介では、「角フレームの戦術的フォルム、こんな凄まじい奴みたことない。ナナハ、4000のシリーズが待ち遠しい」と、国内発売の期待を熱く訴えています。

#### ヤングマシン(日本)

「リヤシリンダーのマフラーがシート下を通り、シートカウルの後より突き出ている。まさにYZRのレプリカといった感じ」とRD500LCを評したこの雑誌は、DT125

## 第25回東京モーターショー

お客さまをお誘いの上、  
お出かけください。

- 会場／東京・晴海
- 日程／10月29日(出)～11月8日(休)
- 時間／平日＝9：30～16：30  
日・祝日＝9：00～17：30
- 料金／一般＝800円  
小・中学生＝350円

5LCにも注目。ディスクブレーキとYPPV S。ヤマハがいかにこのモデルに力を入れて開発したかがわかる」とアピールしています。

その他、ミスターバイク、モトラッド、ザ・バイク、ブレイライダース、モトチャンプ、別冊モーターサイクリスト……などで、’83パリショーに出展したヤマハのヨーロッパ向け’84ニューモデルを紹介(10月20日現在)。高品質、高性能なヤマハのスポーツバイク群に、大きな期待を寄せていたのです。





●(有)南星商会・桜井富士男社長×ヤマハ京都㈱・野田健次セールス

▲野田セールス

# 「集金に歩くこととは、訪問販売にプリンスでもね」

▲桜井社長

# 「気持はいつも『皇国の興廃は我々の戦にあり』」



京都市北区で創業23年のご商売を展開する南星商会さん。京都産業大学をはさんで、ふたつの支店を構え学生層への確実なご商売を展開する一方で、桜井社長独自の販促、プランがこの秋、また新しいお客さまを増やしています。

その販売プランとは、桜井社長の訪問販売作戦。20年の経験と実績をもつこの地道な活動が、今やお店の売上げの中の20%を占めるといふから驚きです。さて、担当セールスとの会話では、どんな言葉が飛び出すでしょう。

(有)南星商会さん(桜井富士男社長)の洛北店。▼店舗面積20坪▼展示台数40台▼立地/住宅地、学生街▼スタッフ2名

「奥さま奇麗ね」  
もセールストークノ

野田 実はね、社長。あのとき私は半信半疑だったんですよ。私が社長のお店を担当させてもらうようになった3年前ですけど。

そのとき「あそこのお店は訪問販売で結構売ってる」っていう話を前任者からだいたい聞いていたんです。でもほんとうに半信半疑だった。

それで、いきなり春のセール期間中にすごく売ったでしょ。で、何でこんなに売れるのかなアッてビックリしたんですよ(笑)。

桜井 まあ、うちで訪問販売というか外交を始めたのは、もう20年も前からだからね、も

ともとうちは自転車との併売をやっていたでしょう、自転車業界っていうのは、昔から訪問販売をやっていたんですよ。

野田 それにしても社長と同行して訪問販売に出掛ける、やっぱり驚きますね。社長のパワーには。

夜になると実際、社長の目の輝きは違ってくるし(笑)。で、訪問先きの商談も10分から15分くらいの短時間で、すぐに話がまとまってしまうんですから。門前払いもほとんどありませんし。

桜井 まあ、いろいろなお宅があるわけだけれど、大事な今のまでの取引と信用。それと人間関係やね。

野田 でも、話し方のコツというのがあるん







前列左から桜井俊定さん、奥さまの操さん、後列左から桜井繁さん、野田セールス、桜井哲也さん、桜井社長



ハワイアンが大好きという桜井社長(右)と野田セールス

●野田健次セールス  
(ヤマハ京都藤原都北営業所)  
昭和54年ヤマハ入社。以来、オートバイ営業一筋。モットーは「販売店さんに対して誠心誠意をつくすこと」。販売店さんとはゴルフを一緒に楽しむこともある。福岡大学商学部卒。福岡県出身の34歳。

じやないですか。

桜井 たしかに売り込みは、テクニクが必要やね。でも、やはり人間関係よ。

野田 いや、社長の話の持っついき方というのは独特ですよ。

こんなこともあったでしょう。ペルーガを1台売ったときですよ。そのお宅では、奥さんが「いらぬ」と話されていて、ご主人は迷っておられた。

そこで社長が「奥さん、綺麗な顔してきついいこといわれますね」って話されたでしょう。その会話がきっかけで、結局1台売ってもらうことになったんですよ。

あのときの社長のタイミングというか、話の持っついき方っていうのは、もう一生忘れませんよ、私は。

桜井 ああ、そんな事もあったっけ。まあ、話の持っついき方はいろいろやけどね。

野田 それにしても、得意先の家族構成なんかよく調べられてますよね、社長は。

桜井 人間関係をつかっていくことを考えれば、家族構成なんか自然と解ってくるもんだからね。子供が何人で、いくつで、高校への入学はいつか、クルマはあるのかなのか……といったことはね。

こういう情報は、どこの販売店さんでも集めてらっしゃるでしょうけれど、実際に訪問しないと意味がありませんから。

### 集金は戦術だ!

野田 なるほど。まあ、夕方の7時ごろから訪問販売で社長に同行すると、いつも訪問先までお茶やおやつが出てくるので、夜遅く帰って来たときは、もうおなかがいっぱいという感じなんですよね(笑)。

ところで、社長が訪問販売で成功している

ポイントを、私はこう思っているんです。新車販売のとき、同じ月賦販売でもクレジット利用の方は30%くらいで、残りのお客さまの方は毎月集金に行かれるでしょう、それですよ。

集金するというところで、お客さまの家に自然な形で訪問できるところがミソなんですよね。

桜井 そうかもしれないねえ。確かにクレジットにしてしまうと、うちの方でお客さま宅に行くチャンスはなくなってしまうし、お客さまとのおつきあひもそれで終わってしまうこともあるからね。

まったくの新興住宅地なんかでお客さまの気ところがわからないときはクレジットもいけれどね……。

野田 それだけじゃないですよ。金額の少ない修理代なんかにしても、社長はその時に代金を受けとらないことが多いでしょう、それですよ。

桜井 まあね。10000円の修理代が発生するとめておいて集金しているからね。

野田 そうです。たとえ1か月に2000円とか3000円とかいう金額でも、社長自ら集金して歩かれるので、それでお得意さん宅の家族構成などの情報を仕入れることができます。訪問販売のための下地づくりができると思うんです。

桜井 確かにそうやね。まあ、これからの時代は待つ商売でないことは確かですからね。チラシの効果も弱くなっているし、目標台数をはつきり決めて訪問販売をやっついきたいね。

野田 これからは、息子さん達にも頑張ってもらいたいですね、訪問販売も。

最後に、社長のその意気込みの秘訣を教えてくださいませんか。

桜井 ちょっと古いですけど、皇国の興廃この一戦にあり。っていうやつやね、やっぱり目標台数達成に、各員一層奮励努力せよ、っていうのもセールスを始めるときには言ってるんですよ。



ヤマハ奥さま  
登★場

⑪

# 全天候型のセールス&サービスこそ ウチラフがやろうとする商いやネ!

商いの都・大阪は、ご商売に関してとても敏感です。モノにこだわりをもち、徹底的に追求する根気強さはヒカイチ。今月は、探求心が旺盛で人情の厚い、ヤマハ東大阪榊東営業所管内のヤマハ奥さまをご紹介します。



バイクに対する研究には力を入れているんですよ。たとえば、サリアンの拡販を計画するでしょう。その時には徹底的にユーザーの意見を集めて、セールスポイントをリストアップしておくとかネ。その他、パンフレットを隅から隅まで目を通して勉強しておくとか。お客さんにやさしく、この簡単なことをくり返し行なうことが、店の信頼につながっていくのだと思っています。

●米島香代子さま・八尾市久宝寺／ヨネシマオート(米島俊高社長)



ウチの自慢はなんといってもアフターサービス。お客さまにとってはここが集合場所となっており、コミュニケーションを深めているんです。工具を店頭で貸し出しているのも、あたったみたいですよ。またウチのチラシには地下鉄とバスの時刻表を載せており、便利がられています。

●青井洋子さま・大阪市平野区／三輪商会(青井忠夫社長)



自分でクルマをおろし、そのセールスポイントをじっくりとつかむ。実は先日・京都と琵琶湖まで主人と2人でツーリングに行ってきたの。距離は約300km、ジョグの軽快なフットワークを自分で体験したことは、とっても商売にプラスになったみたい。今後は女性のお客さまとツーリングに行きたい。息抜き





初心者のための  
原付自転車 安全乗り方講習会  
に参加しよう!!

●講習会は各都道府県で実施されています。  
●講習会に参加することで、原付自転車の運転免許が取得できます。  
●講習会に参加する場合は、講習料がかかります。また、講習料に講習用ヘルメットが用意されています。  
●講習料は講習会事務局に問い合わせください。

都道府県	講習会事務局	講習料
北海道	札幌市東区南一条1丁目1番1号 札幌市交通安全協会	1,000円
青森県	青森市青森区本町1丁目1番1号 青森県交通安全協会	1,000円
岩手県	盛岡市大町1丁目1番1号 岩手県交通安全協会	1,000円
宮城県	仙台市青葉区大町1丁目1番1号 宮城県交通安全協会	1,000円
秋田県	秋田市大町1丁目1番1号 秋田県交通安全協会	1,000円
山形県	山形市大町1丁目1番1号 山形県交通安全協会	1,000円
福島県	福島市大町1丁目1番1号 福島県交通安全協会	1,000円
茨城県	水戸市大町1丁目1番1号 茨城県交通安全協会	1,000円
栃木県	宇都宮市大町1丁目1番1号 栃木県交通安全協会	1,000円
群馬県	前橋市大町1丁目1番1号 群馬県交通安全協会	1,000円
埼玉県	さいたま市大町1丁目1番1号 埼玉県交通安全協会	1,000円
千葉県	千葉市大町1丁目1番1号 千葉県交通安全協会	1,000円
東京都	東京都交通安全協会	1,000円
神奈川県	横浜市中区大町1丁目1番1号 神奈川県交通安全協会	1,000円
新潟県	新潟市大町1丁目1番1号 新潟県交通安全協会	1,000円
富山県	富山市大町1丁目1番1号 富山県交通安全協会	1,000円
石川県	金沢市大町1丁目1番1号 石川県交通安全協会	1,000円
福井県	福井市大町1丁目1番1号 福井県交通安全協会	1,000円
山梨県	山梨市大町1丁目1番1号 山梨県交通安全協会	1,000円
長野県	長野市大町1丁目1番1号 長野県交通安全協会	1,000円
岐阜県	岐阜市大町1丁目1番1号 岐阜県交通安全協会	1,000円
静岡県	静岡市大町1丁目1番1号 静岡県交通安全協会	1,000円
愛知県	名古屋市大町1丁目1番1号 愛知県交通安全協会	1,000円
岐阜県	岐阜市大町1丁目1番1号 岐阜県交通安全協会	1,000円
京都府	京都市大町1丁目1番1号 京都府交通安全協会	1,000円
大阪府	大阪市大町1丁目1番1号 大阪府交通安全協会	1,000円
兵庫県	神戸市大町1丁目1番1号 兵庫県交通安全協会	1,000円
奈良県	奈良市大町1丁目1番1号 奈良県交通安全協会	1,000円
和歌山県	和歌山市大町1丁目1番1号 和歌山県交通安全協会	1,000円
徳島県	徳島市大町1丁目1番1号 徳島県交通安全協会	1,000円
香川県	高松市大町1丁目1番1号 香川県交通安全協会	1,000円
愛媛県	松山市大町1丁目1番1号 愛媛県交通安全協会	1,000円
高知県	高知市大町1丁目1番1号 高知県交通安全協会	1,000円
福岡県	福岡市大町1丁目1番1号 福岡県交通安全協会	1,000円
佐賀県	佐賀市大町1丁目1番1号 佐賀県交通安全協会	1,000円
大分県	大分市大町1丁目1番1号 大分県交通安全協会	1,000円
熊本県	熊本市大町1丁目1番1号 熊本県交通安全協会	1,000円
鹿児島県	鹿児島市大町1丁目1番1号 鹿児島県交通安全協会	1,000円
沖縄県	那覇市大町1丁目1番1号 沖縄県交通安全協会	1,000円

あなたを守る安全運転



店舗のレイアウトの担当を任されており、季節に合わせて年4回、店舗に気を配っています。店内を明るく、しかも賑やかにしたいので松屋町までディスプレイの品を買いに行っているのこの冬場は、来春の段取りや、DM送付などやらなければならない仕事でいっぱい。でも、週1回のジャズ体操でストレスを解消しています。

●岩崎みや子さま・東大阪市末広町／二輪センターイワサキ (岩崎勝之助社長)



バッテリー液の補充、プラグやオイル交換はやっていきますが、技術面の初歩的なメンテナンスぐらいは自分でやれるようになりたい。できれば三級整備士の免許も取りたいわ。そのためには社長からできる限りの知識を吸収し、基本的には新車整備はすべてやっていけるよう頑張っているんです。

●松谷宣子さま・柏原市国分本町／オートショップ松谷商会 (松谷敬一社長)

AUTO SHOP IZAWA  
(06)702-7027

●井沢祥子さま・大阪市東住吉区／オートショップ井沢 (井沢単社長)

アフターサービスを中心にした、どこでも飛んで行く店なので、電話一本でかけつける。と売った時に進言しているんです。初めて修理をすればなおさらのことお店のモットーがわかってもらえるんです。お客さまに対して、誠実、いいかげんなことをしない、愛情を売る、これが商いの基本だと思っています。



●阪本恭子さま・大阪市生野区／田中輪業商会 (阪本一雄社長)

の時間としてバイクを使ってもらえれば素敵よネッ。



83ワールド・チャンピオン(MX500cc) ハカン・カルキビスト選手、大いに語る！

「この仕事には近道がないんだ。長い間この世界で生きていきたくければ、練習を積み重ねる以外にないと思うよ！」

モトクロス競技の頂点ともいえる500ccクラスの世界選手権シリーズ。そのシ烈な闘いの中で見事チャンピオンの栄冠を獲得したのは、ヤマハYZM500を駆るハカン・カルキビスト選手(スウェーデン)でした。

そのカルキビスト選手がさきごろ来日し、本社を訪問しました。83シリーズの報告、関係スタッフへの挨拶、ニューマシンのテストから記者会見まで、ハードなスケジュールを精力的にこなしたのですが、この10月15日(16日)にはスウェーデンで行なわれたモトクロス日本GPにも出場。YZM500ならぬYZM250を駆って、豪快な走りを日本のファンに披露しました。

本誌では、そんなハード・スケジュールの合い間をぬって、カルキビスト選手にインタビュー。その人となりやレースに対する思い——などを聞いてみました。

イタリアでの勝利が  
以後のレースを勢いづかせたんだ

ワールド・チャンピオン獲得、おめでとう  
ございます。

どうもありがとうございます。1戦1戦かなりキツかったのは事実だけど、いい結果が残せてとても満足しているんだ。

79年に250ccのワールドを制覇して、今年500ccのチャンピオン。250ccと500ccのダブル・タイトル獲得は、ヘイキ・ミツコラ(現ヤマハ・コーチ)について史上2人目の偉業ということになりますか。

250ccのタイトルを奪った時点で、目標

は500ccに設定していたんだ。そして、それからというもの、500cc用の練習とマシン作りに全力を注いだというわけさ。

そういう意味では、ミツコラはよい目標だったといえそうですね。

まあね。でも、人にはそれぞれにスタイルがあるでしょう。ミツコラにスタイルがあるように、僕には僕のスタイルがある。だから確かにミツコラは目標の一人ではあったけれど、僕は僕の考えのもとに、自分でひいた道を歩んできたつもりだよ。

今年のシリーズを振り返っての印象をお聞きしたいのですが。

キツかったよ、ホントに。なぜならば、ず

っと競り合いが続いたからね。ポイントも接近し続けていたしね。

シリーズを前半、中盤、終盤と分けての印象を聞かせていただけますか。

オーケー！まず前半から話すと、自分のコンディションはよくなかったんだ。背中筋肉を痛めた所が完治してはなくなってね。スイス(1戦)と西ドイツ(3戦)は雨でダメ。逆にオーストリア(2戦)とスウェーデン(4戦)は充実したレースができた。もちろん2戦とも総合優勝したさ。

中盤の5、8戦はどうでした。



本社・玄関ロビーに飾られた  
栄光のYZM500と一緒に



今回の来日には、名メカニックとしてもおなじみのフィアンセ、アナ・ベテルソン嬢も同行

5戦のフィンランドGPは、思い通りのレースができずに僅差で負けたが、その後のイタリアGPとアメリカGPは、最高の走りができた。自信が湧いてきたのもイタリアGPから。第1ヒートは40秒差で優勝し、第2ヒートも38番手から2位まで追い上げたのだから、さて、終盤はイギリス、ベルギー、サンマリノと3連勝していますか。

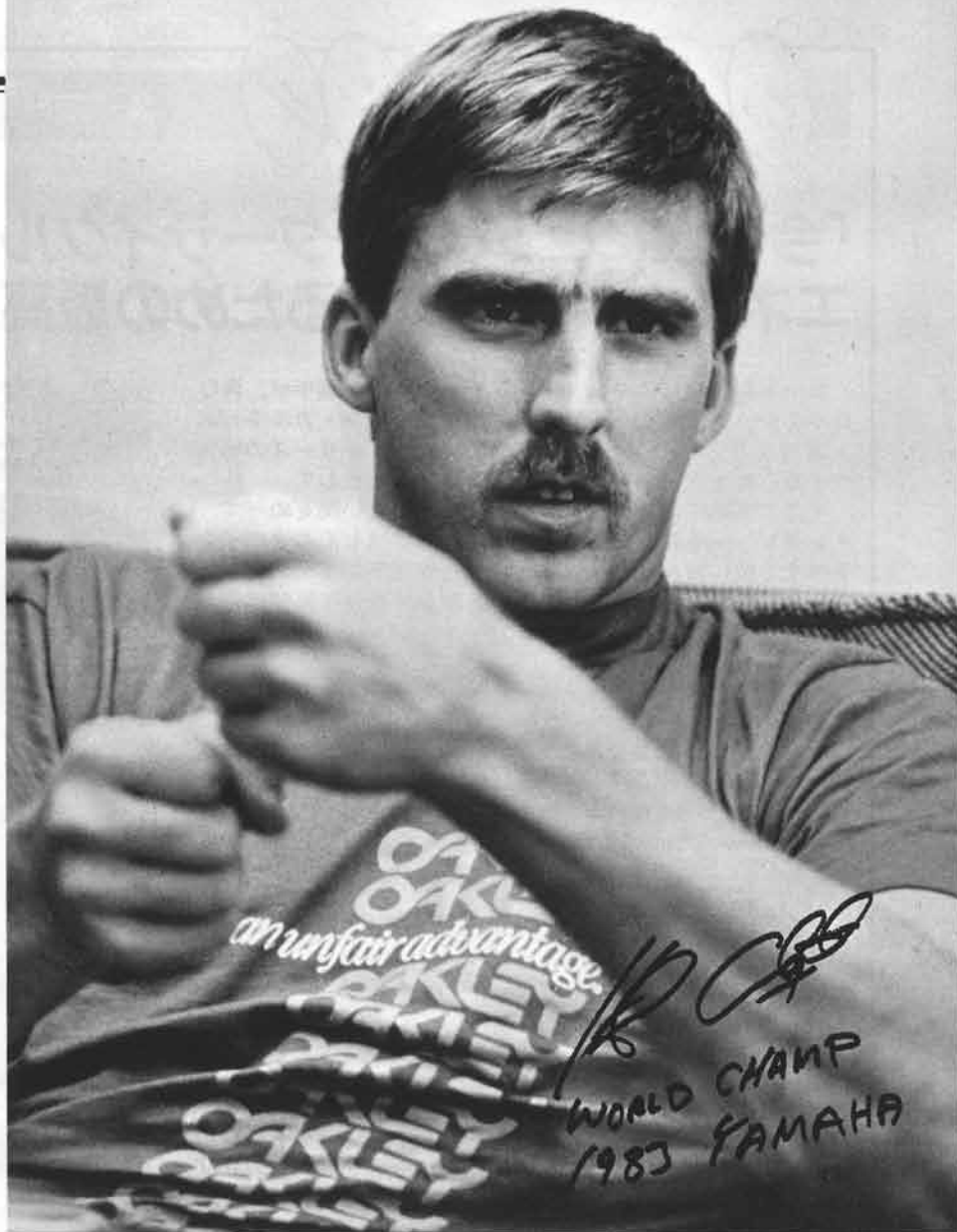
実はその前のフランスGPの時、練習中にアクシデントに合いロッド2本を折った上に、背骨の軟骨を外してしまっただ。でも、次のイギリスGPまでには3週間あったので、コンディションは上々だった。イギリスは両ヒート制覇。ベルギーは1位と2位。サンマリノは3位と1位。このサンマリノで、ようやくチャンピオンは自分のものだ！という確信がもてたんだ。

アメリカGPでの優勝は  
アメリカ人にショックを与えるに  
充分だった

今年のシリーズで、最も印象に残ったレースといったら、どのGPですか。

やっぱりイタリアGPだね。このレースで僕は自信をもてたし、ますますファイトを燃やせました。マラーへも含めて周囲の人のびとは、このレースで僕のことをファーストテスト・ライダーとして認めざるをえなかったのではないだろうか。そして事実、このGP以後は好調にレースを進めることができた。い





いキッカケをつかむことができたんだ。

逆の意味で印象に残っているレースと  
つたら、どのGPですか。

最後のオランダGPが、自分にとっては一番  
経緯が起きてはいけないので、ナーバス  
になったんだ。自分に向けられた期待を裏切  
ってはいけないというプレッシャーは、やっ  
ぱり大きかったね。

アメリカGPでの活躍も、各方面で話題  
になりましたよね。

そう、アメリカGPでは過去4年アメリカ  
人が勝ち続けていたんだよ。彼らにはブラ  
イドがあった、アメリカ人が一番速いとい  
うブライドがね。それがモロくも僕によつて崩  
されたわけだから、大変なショックだったん

だろうね。

アメリカとヨーロッパでは、ライディ  
ング・テクニク面で違いがあると聞いていま  
すが、実際はどうなんですか。

確かに走り方に違いはあるようだね。ア  
メリカの場合、どちらかというとスーパーク  
ロスの場合、どちらかというところ、どうし  
てもそうしたコース状況に適した走り方がベ  
ースになってしまっている。

アメリカのある新聞では、あなたのこと  
を「スーパークロスでも勝てる唯一のヨー  
ロッパ選手」と賞賛していたようですが。

僕もスーパークロスには出場したことがあ  
るんだよ。来月にはオーストラリアで開かれ  
るスーパークロスにも参加する予定だし。フ  
ィーリングはとても楽しいね。観客に囲まれ

ているのが、非常に  
いい気持ちだった。でも、  
スーパークロスは、本  
質的にモトクロスとは  
違うみたいだね。

500ccは  
250cc以上に  
頭も身体も  
使わなけりや  
勝てないんだ

ところで、モトク  
ロスの世界に入ったキ  
ツカケをお話しただ  
けですか。

兄2人がやっていた  
んだ。それで僕も坂か  
ら石ころがころがり落  
ちるように、モトクロ  
スにのめりこんだのさ。

初レースは71年の5月、  
125ccのBクラスで、  
いきなり優勝しちゃっ  
たんだ。

— その後はどうでし  
たか。

その年の終りにはA  
クラスに上った。翌  
年は250ccのAクラスに出場。スウェー  
デンのナショナル・レースをかなり荒したとい  
うわけさ。そして、ワールド・シリーズへの  
挑戦は78年のスペインGPから。もちろん2  
50ccクラスだ。

— その翌年ですね、ワールド・チャンピ  
オンに輝いたのは。

73、74年頃からワールド・チャンピオンに  
なれる予感があったんだ。年々自信があ  
ってきた。78年ワールドに初出場してから  
その自信は揺らぐことはなかった。で、79年  
にワールド・チャンピオンを獲得できたわけ  
だけど、感激というよりは満足したって感じ  
だね。

— それから500ccクラスへ転向したわけ  
ですが、そのときの500ccクラスの影響と

いったらどんでん返りした。

ミスをした時のダメージは、もう500cc  
のほうが大きいわけ。だから、つねにクラ  
ッシュしないように頭を使うんだ。250ccの  
ときはいいラインを選ぶことが先決だったけ  
ど、500ccはそれ以上に頭も、そして身体  
も使わなければ勝てない。だからテクニク  
もそれだけ高度なものが要求されているとい  
えるだろうね。

— 今年、チャンピオンになるまで3年か  
かっていますが、この間どんなところで苦  
れたといえますか。

まずは体力作りだ。精神面を強化するには  
肉体を鍛えなければ駄目だからね。フィジ  
カルに、グッドシェイプに心掛けていたよ。も  
ちろん、マシン作りも大変だった。今年勝  
てたのは、YZM500を完璧に仕上げるこ  
とができたからといって過言ではないよ。あ  
とは、練習さ。

— 練習？

— そう、血がにじむまで練習を重ねる  
こと。この仕事には近道なんてないんだ。ひ  
たすら練習をして、自分をいじめ、マシンを  
いじめる以外ないんだ。頂点を極めるため  
には、そして長い間この世界で生きていくた  
めには、練習を積み重ねるしかないんだ。

— なんでもスウェーデンでは80%も税金を  
とられるようですが、テニスのボルグ、スキ  
ーのステンマルクについてスウェーデンスポ  
ーツ大賞を獲得したあなたにとっては、来  
年は頭の痛い年になりそうですね。

— 最後にお願いしますが、あなたが他人より  
すぐれているとしたらどんな点だと思いで  
すか。

僕が自慢できるのは、決してギブアップし  
ないところだね。後ろにいてもレースを捨て  
ないで1人でも抜こうという気持ちを持って  
いること。それと、自分のマシンをよく理解  
しているということかな。メカニクなこと  
を熟知しているから、トラブルに対してもす  
ぐ対処できる。そこが、もしかしたら他のラ  
イダーよりもすぐれている点かもしれないね。  
— お忙しい中、今日は本当にどうもありが  
とうございました。



### 「今の僕にとってモーターサイクルとは、自分自身のエネルギーを使いきるための最高の道具なんだよ！」

ロードレース界のキング、ケニー・ロバーツ選手が、再び日本にやって来ました。前頁でご紹介のハカン・カルキビスト選手よりもひと足お先に、'83ワールド・シリーズの報告やTBCビッグロードレースへの出場を目的として。

そこで本誌では、忙しいスケジュールの合い間をぬって、インタビューを試みました。今シリーズは惜しくも2ポイント差で2位に甘んじたケニー・ロバーツ選手ですが、「キング」の風格は十分。終始、優しい笑顔を浮かべて質問に応えてくれたのです。

—まず、今シーズンを振り返ってみての感想からお話いただけますか？

よくなかった。優勝できなかったからね。しかし、自分としては一生懸命走ったし、全力を尽くしたので後悔はしていないよ。

マシンにしても全体のコンディションをまとめ上げるまでに少し時間がかかったけど、仕上りは最高。サスやタイヤの調子はとてもよかったし、去年に比べて今シーズンはトラブルも少なかったよ、ずーっと走りやすかったよ。

—チームメイトのエディ・ローソン選手についてはどうでしたか？

エディは今シーズン、たくさんのことを学んだと思いますよ。ずーっと上達したしね。僕にとっても、自分の他にワークライダーがいることは、とても心強いんだ。

僕はエディだけでなく、素質のあるライダー達をできるだけサポートしていきたいと思っている。こういうライダー達が、どんどん伸びていって好成績をあげるのを見るのは、実に楽しみだね。

—あなたご自身、デビュー時と現在とを比較してどうですか？

もちろん現在のほうが速いよ。世界GPへの僕のデビューは'78年で、その年にチャンピオンを奪うことができたんだけど、現在のほうがマシンの性能はアップしているし、ライディング・テクニックが向上しているからね。

—前まえからお聞きしたかったんですが、「キング」の冠称はいつからついたんですか？

'74~'75年頃ですね。ダート・トラックのレースに出ている時に、そう呼ばれるようになったんです。

—では、あなたにとってモーターサイクルとは、なんでしょうか？

今の僕にとってモーターサイクルとは、自分自身のエネルギーを使いきるための、最高の道具っていいだろうね。

僕は思いっきり力を出しきりたいタチで、安全な道を選ぶという事はあまりしないんだ。今の僕の仕事は、ヤマハのために働くことさ。そのために、他の人よりもっとうまくやろうといつも努力していますよ。

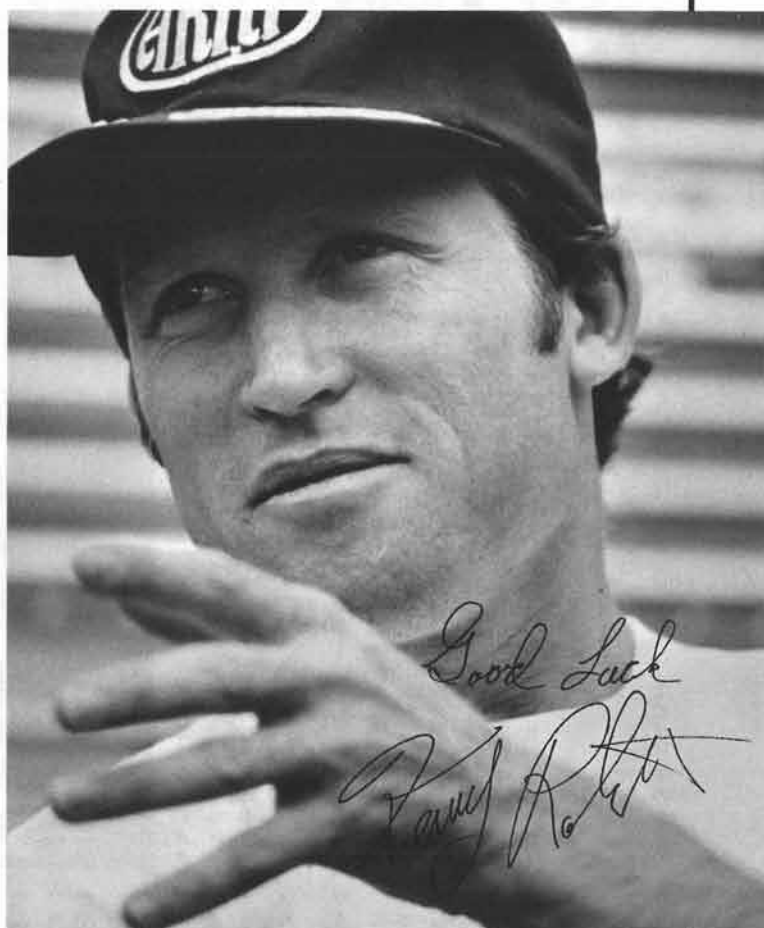
—今後もモーターサイクルとは、切っても切り離せない、と？

もちろん！実は今年の3月からカリフォルニアでヤマハのバイクショップをオープンしたんだ。名前は「ケニー・ロバーツ」さ。僕自身はレース活動に集中しているので、まだ2度しか行っていないけど、楽しみのひとつでもあるんだよ。

それに、僕自身、バイクを作っているしね。

—えっ、バイクをですか？

そう、今、全部の部品を組み立てている最中なんだ。エンジンはヤマハのをそっくりそのまま使っているけど。なにしろエンジンは難しいし、僕よりヤマハのほうがエンジン作りは上手でしょう。(笑)



—今シーズンは、ヨーロッパのGPへお子さんを連れていらしたとも報道されていましたが。

学校などに差しつかえない時にね。いちばん上の息子は10歳になるけど、僕に似すぎていてとても熱中型なんだ。テレビ・ゲームなんかしていると、2人とも夢中になりすぎてケンカになっちゃうこともしばしばさ。

—ところで、今回の来日に先がけてパリショーに立ち寄られたようですが？

はい、ヤマハのブースは人目を惹いて、とてもよかったですよ。特にRD500LCに人気が集中していましたね。

—日本にはもう何度もいらしているわけですが、印象はどうか？

日本は大好きですよ。親切で丁寧。女性がまたいいですね(実は今回のインタビューは女性記者だった：編集部注)。京都のお寺も素晴らしい。最近の印象はマクドナルドが増えたこと、レーシングヘルメットを着用してバイクに乗る人も増えましたね。

—それでは最後に、日本のバイクショップの皆さまに、メッセージとサインをお願いできますか。ヤマハニュースに載せますので。

では「頑張ってください！」という意味で、「グッド・ラック」と書きましょう。

—どうもありがとうございました。





# ●第7回ジャパンカートグランプリ 杉山茂雄(ヤマハ)が 2年連続で栄冠を獲得!

他選手に攻め入るスキを与えず断トツ優勝を果たした杉山茂雄は、自ら開発にたずさわったヤマハRA-IIフレームとヤマハKT100A IIエンジンを使用



決勝ヒートでの杉山(①)はスタート直後に李(②)に抜かれるが、またすぐ抜き返し独走



'77~'78年に優勝したトニー・ゾーセルに次いで、史上2人目の2連勝の偉業を達成した杉山の表情には満足感があふれていた

また、この大会では、ヤマハのKT100Sエンジンをベースとしたワンメイクレースのヤマハカップをはじめ、'83SL全国チャンピオン大会(JF、レディス、S1、S、Aの5クラス)、そして今年から開始されたグレード1-35ccカップの各レースも実施。北は北海道から南は九州までの各地から、総勢175名の精鋭カーターが一堂に会して、スピードとテクニックの応酬が繰り返りひろられたものです。

結果は、昨年大会に優勝し、'82シリーズ・チャンピオンも奪ったヤマハの杉山茂雄が、今大会も安定した走りでの他選手を圧倒。決勝ヒートも、一時は同じヤマハの李好彦にトップを譲ったものの、すぐに抜き返してリード。以後は、昨年大会同様に2位を大きく引き離して、2年連続で栄冠を獲得しました。

レーシングカートの最大イベント、恒例のジャパンカートグランプリは、今年も9月29日~10月2日までの4日間にわたって、スポーツランドSUGOの国際カートコースを舞台に開催されました。'77年からスタートしたこの大会は、今年で7回目を迎えたわけですが、そのメインイベントのFIA・JAF公認の最高格レース「日本グランプリ」には総勢44名のトップカーターが出場、ハイレベルな熱戦が展開されました。





世界GPのトップライダーが駆けつけ、大迫力のレース・シーンを演じて年々人気を高めているTBCビッグロードレースが、今年も10月8〜9日の2日間にわたってスウェーデンのソランドSUGOで開催されました。

回を重ねること11回目の今大会には、世界GPの舞台からケニー・ロバーツ、エディ・ローソン、そして浅見貞男の3選手が出場。国内からも、9月の日本GPでシリーズ・チャンピオンに輝いた平忠彦を筆頭に21選手が出場し、わが国頂点レースにふさわしい白熱戦が繰りひろげられたのです。

低気圧の接近で、両日はあいにくと雨が降ったりやんだり天気でしたが、さすがに世界のトップライダーの豪快な走りが見られるとあって、観衆は大会史上最高の3万6千人を記録。

こうした中で、レースは予想どおり「キング」ケニーが圧倒し、両ヒートを制してバリエクト・ウイン。2位には浅見貞男、3位には河崎裕之、以下も上野真一、エディ・ローソンとヤマハ勢が、続きました。

第2ヒートはケニー、浅見、ローソンがワン・ツー・スリーを走って、さながら世界GPを思わせるシーンを演出



# HOT RACING SCENE!



## ●第11回TBCビッグロードレース "キング"ケニーが 世界GPさながらの走り 3万6千人の大観衆を魅了

スーパースターの貫禄十分の鋭い走りを見せて、36,000人の大観衆を湧かせた"キング"ケニー



ウェットコンディションの中、総勢24台が一斉にスタートを切った第1ヒート



第1ヒート17位と振わなかったローソンだが、第2ヒートでは3位に入り面目を保つ(後ろはTZで総合4位と健闘した上野真一)



# さあ冬、活躍どき。

## YAMAHA スノーモビル & 除雪機

肌をさす風もいちだんと冷たくなって、いよいよ本格的なウィンター・シーズンの到来。ヤマハではことしも、冬期商品としてスノーモビルと除雪機のニューモデルを用意。充実した商品構成で、雪国の人びとにスポーティで行動的な冬をお届けします。バイクを通じてのお客さまとのおつき合いを一層親密なものとするためにも、ヤマハならではの冬期商品をどうぞ活用ください。

### '84ヤマハスノーモビル

大雪原でスポーティ・ツーリング

#### ET340

雪上のオールラウンドタイプ。フットワークは俊敏、軽快。(32馬力)



#### BR250

オフロードの入門スノーモ。ライトなボディで取り回しもラクラク。(18馬力)



#### ET340T

タンDEM・ツーリングが楽しめるヘビードューティ・スノーモ。(30.9馬力)



#### SS440

7ポートエンジンのビッグパワーに応えたサス装備のスーパースポーツ・スノーモ。(51馬力)



※上記の4機種はいずれもオフロード専用車ですので、一般公道は走行できません。公道走行用の認定車としては、S250、S340、S540の3機種が用意されています。

### '84ヤマハ除雪機

家庭用から本格タイプまで4機種



#### YSM-250

重さはわずか21kgの奥さまタイプ。お掃除気分で除雪OK/(2馬力)

#### YSM-555

固い雪も一気に砕いて飛ばす。前進3段、後進2段で作業効率も抜群/(5.5馬力)



#### YT-665

高品質、高性能のハイパワー。安全性や耐久性にも優れた本格タイプ。(6.5馬力)

#### YT-1090

クラス最軽量の198kgながら、毎時60tの除雪能力を発揮。手元集中コントロール機能で操作性も抜群/(10馬力)



●詳細についてのお問合せは——特機担当セールスマンまでどうぞ！●

# INFORMATION FROM YAMAHA

●詳しくは担当のアドバイザーにお問合わせください

SL



## 普及活動への積極参加は顧客の幅を広げ、お店の利益を増します！

モータースポーツの人気が高まっています。ロードレース、モトクロス、トライアル各競技における全日本選手権および主要大会の観客数はいずれもウナギ昇りで、その他の競技会の数や参加者数もそれぞれに上昇傾向を示しています。

ことに見逃せないのが、底辺需要の拡大傾

向。84年度のSLモトクロス大会&スクールやSLトライアル大会&スクール、そしてSLオフロードライディングスクール、ミニYRS、モトリングなどの活動は、大きな飛躍が期待されているのです。

スポーツ普及、レース普及、安全普及の3本柱は、二輪車販売にとって必要不可欠な活動ですが、

とくにこうしたモータースポーツ・ブームが高まっている中では、ご販売に大きな影響を与えることはいままでもありません。

お店でも、これらの普及活動の展開により大きな力を注いで、新しい需要の波をおつくりくださいますようお願い致します。

## SERVICE

## 超小型マイコンデジタルエンジンタコメーターをどうぞ！

二輪車の点検、整備の省力化に大活躍のデジタルエンジンタコメーターですが、このほどヤマハ専用仕様の新機種が開発されましたので、ここに紹介します。

すでに2年前よりヤマハでは皆さまのお手元に、デジタルエンジンタコメーター（DET-103）をお届けしておりますが、このニューモデルは前回モデルで得たノウハウを

生かし豊富な機能を採用するとともに、マイコン搭載により精度アップを図っています。主な特長は、①マイコン搭載、②手の平にのるポケットサイズの軽量小型（50g）、③受信精度アップによるデジタル表示の安定化、④自動電源スイッチによる節電機能、⑤回転計実動時間表示、⑥コードレス（プラグコードに近づけるだけで測定可能）など。

お店でもぜひ、点検・整備の省力化に、世界初のマイコン搭載のデジタルエンジンタコメーターをお備えください。

- 標準現金価格／15,400円
- パーツナンバー／90890-03135
- 発売予定日／11月1日より

※注文・お問合せは、ヤマハ特約店およびヤマハ販売会社の部品課までどうぞ。



## スポーツランドSUGO

みちのくのスポーツランドSUGOは、いま紅葉まっさかり。そして、秋から冬へと駆け足で移ろうとしています。そこで今月は、じっくりSUGOに腰を落ち着けてお楽しみいただける2つのバックをご紹介します。

### ①スキーバック

12月16日から恒例の「ワンダフルスキーイング・バック」が組まれています。東京・出

発、2泊3日と3泊4日がベースで、初すべりコース、クリスマスコース、お正月コース、ウィークエンドコースの4コースが用意されています。詳しくはSUGO東京営業所までお問合せください。（注・わんぱくスキー教室は、SUGO仙台営業所で扱っております）

美狩鍋の和鍋と、雪華鍋、秀峰鍋の中華鍋がそろった豪華メニュー。気の合うお仲間と楽しい宴会を演出してください。ご予約は10人以上で。日帰り・ご宿泊の各コースが用意され、無料送迎バスもご利用いただけます。ご予約は、SUGO仙台営業所までどうぞ。

※このほか、いも煮バックやゴルフバック、テニスバック、ニューイヤーパーックも受付中です。ご予約はお早目をお願いいたします。

- SUGO東京営業所
- 〒105 東京都港区芝2-31-16
- ☎03(456)0191
- SUGO仙台営業所
- 〒980 仙台市一番町1-4-1 福田ビル1F
- ☎0222(66)8401
- スポーツランドSUGO
- 〒989-114 宮城県柴田郡村田町管生
- ☎02248(3)3111



太田克彦氏プロフィール エッセイスト。43歳。バイクの本をディレクトしたことから、一挙にバイクファンへ。オン・オフ両刀使いとして、多忙の合間にツーリングを楽しむ



かったけど、いまはちゃんと放映してるもの——当然、書くものにもそれがあらわれるわけだね。

「このところオレ、小説書いてるんだ。これからまだまだ書きたいものがあるんだ」

——ほくは小説の世界に足ふみ入れてないんだけど、小説って楽なのかな。だって資料を積みあげて、忠実に再現していく必要ないわけだろ？

「その点はたしかに楽だね。ウソ書けるからね。資料じゃなくて、イメージに忠実に書きおこしていけばいいんだから。オレいまね、新しい冒険物語を書いていきたいんだ。たとえばこのあいだ『野性時代』に載せた時代もののようなフィクションを、これからは発表していくつもり」

——『シャコタン・ブギ』のころの戸井十月は、たいてい片書きが「ルポ・ライター」だったように思うけど。

「でもさオレ、自分で自分のことルポ・ライターだっていったこといちどもないよ。オレ

はさ、いわゆるそういうジャンルにはこだわらないんだ。ルポ書いていても、小説書いても、けっきょく同じだからね。オレが感じて、オレが思ったことしか書かないんだから。とにかくネのくらい話じゃなく、自分で楽しめることを書いていきたいな」

——そうするとつぎのもの書くには、また新しい体験が必要になるね。

「今月の終わりは、またアメリカにいくんだ。取材で」

——こんどはどんな仕事？

「バリータカールでがんばった風間さんが、こんどはメキシコのバハでやるレースに出場するんだけど、それにずっとくっついて取材しようと思って。」

エンセナーダという町を出発してクソ暑い砂漠を走るの。あの「カクタス」のサボテンがポコポコ生えてる中をツッ走るんだ。距離が長いんだよね。でも根性あるよ、彼は」

——取材するほうもけっこう苦しいね。

「多分ね。そのあと来年の春はもっと楽しいのやるんだ。オレも出場するからね」

——なに？それ。

「フランスの田舎にル・トゥケっていう町があるんだけど、レースもそこの名前とってるの。300キロもある海岸線の砂浜を走ることになるから、かなり体力いると思うんだ。」

4輪はダメだけど、3輪バギーもいいの。どんな車種でもよくて、オジサンもオバサンも、シロウトがいっぱい参加するんだ。なにしろ40万人も人が出てね、2月の第3週の日曜日なんだけど、この日は町がもう無政府状態になっちゃうんだ。

写真見ただけだね、もう1500~1600台くらいがダンゴになって、ものすごい。途中とまっちゃったら根性で押してく。写真見たかぎりでは、あっちの連中、KTMなんかやっぱり多いね」

——ひとりで参加するわけ？

「いや、根津甚八と宇崎竜童もいっしょにエ

ントリーするんだ。みんないまから特訓してるよ」

——あれ。宇崎さんて、本格的にバイク乗るの？

「それがさ、もう病みつき。免許なんかまだとったばかりなのに。このあいだ風間さんたちといっしょにツーリングにいったんだよね。長い距離乗るなんて、彼はじめてなんだけど、ピタシついてくるもんね。しかもハンドルのあがったアメリカン・タイプだよ。コーナーなんかスピード落とさしないで、全速でまわっちゃうんだ。だからライディングのセンス、すごくいいとは思うんだ」

——しかしそのレースは楽しそうだな。

「レースのまえの晩なんか、あっちこち店は出るわ、ロック・コンサートを聞かぬ、もうメチャメチャな祭りで、レースもそうだけど、こっちのほうも楽しみなんだ」

——みんな忙しい連中なのに、よくまあ私用で出かけられるね。

「だって一日だけでも。でも、出るとなったらいちおう鍛えておかなきゃね」

——フィジカル・ライターとしては、メンツにかかわるだろうからね。でも、肉体を信じすぎると挫折も大きいよ。ヘミングウェイだって三島由紀夫だって、肉体のおとろえのショックが大きくて死んだんじゃないかと思ってるくらいだから、ほくは。

「そりゃ肉体は衰えるもんだよ」

——でも戸井くんはストイックな肉体神話をもってるんだろ？ 少なくとも文章からはそういうふううけとれるんだけど。

「そんなことはないよ。もしそうだと思うしていたら誤解だよ。オレだって20代のころの肉体に比べたら、はるかにいまはパワーはないし、そんなことわかってるよ。そりゃ極端に腹かせり出てきたりしたら問題だけど。オレは別に肉体至上主義ってわけじゃないんだよ。ただ、自分の肉体をとおして何かを見るということはあるけど、それはまた別の問題だからね」





## BOOKS

●ひと味もふた味もちがうオンロード・ライディング・テクニクの本。これでアメリカンの速さの秘密がわかります。

今、モトクロスだけでなく、ロードレースの世界でも、やはりアメリカンライダーが大活躍しています。なぜアメリカンはこれほどまで台頭してきたのでしょうか。

その理由の一つとして、ライディングの研究に対して非常に熱心で、人一倍努力をするからです。その背景にはオートバイスポーツが完全なるプロフェシヨナルの世界として形成されているという理由があります。

この「ハイスピードライディング」、原題はア・ツイスト・オブ・ザ・リストで、多くのテクニク本にありがちな教え方ではなく、マシンやオンロードをどのようにとらえるか、ということに重点を置いて様々な状況を説明しています。



テクニクの上は、ひいては安全ライディングにつながります。ロードレースを目指す人、未長くバイクを楽しみたい人にこそ読んで頂きたい一冊です。

「ハイスピードライディング」/キース・コード著、小川ヨコ訳。グランプリ出版。1500円。

★★★



●ほのぼのとした物語を楽しみながら、戦後からのバイク史を知る、そんな一冊がこの本です。

バイク雑誌「ヤングマシン」にその昔、連載されていた「ぼくのキラキラ星」を一冊にまとめたのがこの本です。

しかし、正確に言いますと、多少手を加えられ、装いも新たに再登場したもので、出版元も変わっていますが、温かい筆タッチの中沖氏の個性がさらに光りを増して、時間を忘れて読み耽けてしまうほどです。とくに、中沖氏と同世代の方々にはオーバードラップする部分も非常に多いのではないかと思います。

著者の中沖氏は、筆の方もさることながら、イラストの方も達者で、彼のオートバイに対する思い入れの深さが伝わってきます。彼の本職は、自動車の塗装職人。イラストを描くときも自動車に触れる時のように、優しく愛しく心をこめて描いているにちがありません。

中沖氏と同年代の方だけでなく、若い方でも、古いオートバイのことを知る一冊としてオススメ品です。「ボクのきらきら星」発売/グランプリ出版。1200円

★★★

●新しいメディアが注目されています。その名を「パーソナル無線」。オートバイに使用すれば楽しさは倍増。まずはパーソナル無線の入門書を読んでから始めましょう。

雑誌の広告やテレビのCM、駅のポスターなどで「パーソナル無線」の宣伝は見られたことでしょうか。

この無線、まず嬉しいのは資格が必要ないということ。無線機につきものの面倒な操作は、内蔵されたコンピューターがやってくれますので、誰でも手軽に使用できます。特定の相手・グループと、あるいは見知らぬ人と、他の人にじゃまされずに話ができます。混信や雑音は少なく、音質はFM放送なみです。

魅力多いパーソナル無線の開設方法、注意点やマナー、上手な交信方法など実践的に教えてくれるのがこの本で、慣れない時から楽しくスマートにパーソナル無線を扱えるよう



になります。バイクとバイク、バイクとクルマ、ツーリングなどうまく使えばバイクライフもよりいっそう楽しいものとなるでしょう。発売/日本実業出版社。九八〇円。

## INFORMATION

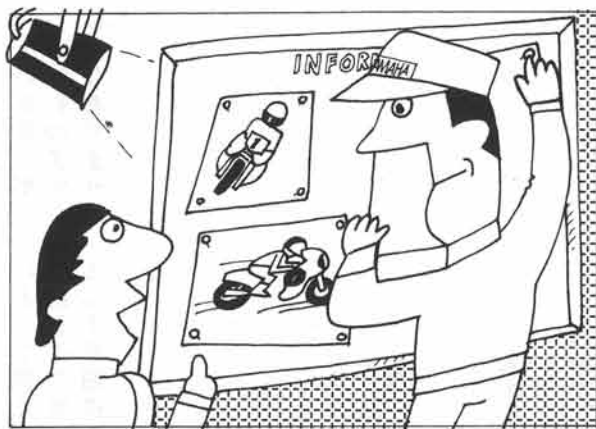
●オートバイは、それ自体スポーツですね。その究極の姿がモトクロス・ロードレース・トライアルなどの競技といえるでしょう。それを雑誌の中だけにとじこめるのはナンセンスとおもいませんか？

そもそも雑誌は雑誌であって、単に書棚に入れておいたのではつまみません。保存版と思えない雑誌はピンバシ切りはずして、お店の情報コーナーに貼るといいかがでしょう。

たとえば、ケニー・ロバートの走りとかカルキピストのジャンプ。迫力のある写真や記事を情報として掲示するだけで、お店はぐっ

とライブな雰囲気になります。もちろん情報  
は新しくなければ意味ありません。全日本選  
手権シリーズのポイント表やレースリザルト  
などもこまめに掲示してみると意外とお客様  
もレースファンになったりして。

もし、お店にはツーリングファンの方がた  
だけでしたら、ビデオの映写会や写真展示会  
をやってみるというのもいいでしょう。その  
年どしに起ったいろいろなハブニングをアル  
バムにして記録してゆくというのも、お店の  
歴史としてとても価値あることだと思います。  
ケニー・ロバーツの美しい走り、しかも83年  
の走りとして、その写真を保存するというの  
もナカナカ趣味のいい話ではないでしょうか。



# WEAR

●バイクライダーにとって厳しい季節になり  
ました。あつたかくして走りたい、そんな  
人の気持ちをそのままウェアにしたらこう  
なりました。エントラントとリフレテックス  
の組み合わせです。

空気が最良の自然の断熱材ですが、ウェア



ヤマハ 2000 REFLEX

はこの空気を封じ込めることで人体の保温を  
はかります。この空気の容量が保温のキメ手  
となります。しかし、これだけでは完全では  
ありません。人間の体から放射される赤外線  
エネルギーをウェアから外へ出さなければよ  
り暖かくなります。つまり体熱ロスを少なく  
すればいいというわけです。

まず断熱材として優れた性能を発揮するの  
が「エントラント」です。これは防水性と透  
湿性の相対機能を同時に備えた、呼吸す  
る素材で、雨や水の浸透をシャットアウトし  
汗や熱による衣服内部でのムレやべっつきを  
解消するものです。

具体的にいいとすると、水蒸気よりも大きな  
無数の微細な穴を持つ皮膜構造でムレやべっ  
つきを解消し、なおかつ直径2〜3ミクロン  
以下の微細な穴構造が雨や水滴を内部に浸透  
しにくくしています。このエントラント20  
00はこのような特性をもつことからオート  
バイ用ジャケットのアウトシェルとして、は  
理想的な素材といえることができます。

対するインナー用の素材としては、先ほど  
述べましたように体温を反射してしまうも  
のがベストです。寒気をはじくアルミニウム蒸  
着ポリエチレンフィルムに、密度の異なる2  
種類のポリエステルファイバーを両側にバン  
ディングした「リフレテックス」が最適な素材  
といえるでしょう。

エントラント2000とリフレテックスの  
組み合わせによるウェア類がヤマハバイクウ  
エアY Aシリーズです。スマートに乗りこな

したい人のために、より暖かい走りをしたい  
人のためにも、この理想的な2つの素材を組  
み合わせたウェアは申し分のない着こちを  
約束してくれることでしょう。  
オートバイの進化に合せたウェア造りを心  
掛けているヤマハならではの作品群を、ぜひ  
これからのシーズンにお客さまにおすすめて  
ください。

# FASHION

●美しいものをより美しくする  
ヤマハSRの本

ヤマハSR400/500はシンプル&ス  
リムでマニアチックなオートバイですが、そ



れにしてもSRの人気には驚かされますね。  
マルチ化、高馬力化……が求められる中に  
あって、頑なに「シングル」を守り通して、  
なおこの人気。個性のあるオートバイに乗る  
のは確かに気分がいいものですが、とくにS  
Rのオーナーは皆、自分のバイクを大事に扱  
い、その独特のフィーリングを楽しんでいる  
といえそうです。

それだからこそ、こんな本も出てきたので  
しょう。いま、SRオーナーの間で秘かに人  
気を集めているのが、「ザ・SRブック」。SR  
ファンのために編集されたこの一冊は、メン  
テナンスの手ほどきをイラストと写真を存分  
に使って紹介。細部に至るトラブルシューテ  
ィングやパーツリストが、オーナーを泣かせ  
ます。出版は、オレンジブルボード。〒15  
8 東京都世田谷区玉川台2-11-3 ☎  
3-709-7119。2,000円。

# MECHANISM

●ヤマハモトクロッサー・YZシリーズの  
ヤシヨックはなぜ前傾しているのでしょうか。

話は簡単です。モトクロッサーにとって一  
番大切なマス集中化のためです。と同時にシ  
ート下にあるエアクリナーのレイアウトを  
考えた結果でもあります。

84年型YZ125と250はリヤサスの減  
衰力調整がワンタッチでできるようになって  
います。コース状況がめまぐるしく変化する  
モトクロスにとって、簡単にサスセッティン  
グができることは非常に重要です。圧側およ  
び伸び側の調整もダイヤル数が多いながらも  
その効きの変化は把握しやすく、誰にでも扱  
いやすい調整装置といえるでしょう。

今回のモデルチェンジでは、リヤサスのリ  
ンク部を軽量化とコンパクト化をしています。  
弟分のYZ80も昨年型よりもさらに安定感の  
あるリヤサスに変わりました。大人が本気で  
乗っても十分に期待に応えてくれます。  
フロントのサスと合わせてベストなサスセ  
ッティングをお客様にアドバイスできるように、  
しっかりとサービスマニュアルを読んで  
おきたいですね。





理論編

# ストアマーケティングの考え方

マーケティングという言葉は、昭和30年頃から日本に導入されたといわれていますが、そのわりには正しく理解されていない言葉です。人によって調査（市場調査）のことだと思われていたり、販売促進のことだと思われていたり、あるいはそれをすればすぐにも売上げの増加がはかれる不思議なもの、という見方もあるようです。これらが正しくないことはいまでもありません。そこで今回は、このマーケティングについて考えてみましょう。

ひとことでマーケティングとは何か、を言い表わすことはかなりむずかしいのですが、あえて誤解を恐れずにいえば「売るための考え方と仕組みづくり」といえるでしょう。

## ふたつの考え方

それではまず、考え方から見てみましょう。これにも諸説はありますが、まとめてみると基本的にふたつに絞ることができそうです。

第1は「消費者志向」という考え方です。自分や店のことばかりでなく買う側、お客さまの側に立って考えていこうという姿勢を示したものです。その中には、自分や店のことをだけ考えていたのでは視野も狭くなり、とても消費者に好まれ売れるような店にはなれない、という反省も含まれています。消費者の立場に立って経営というものを考えていかない限り、長期的な繁栄は望めません。

第2の考え方は「需要の創造」です。需要というのは簡単な言葉でいえば「欲しがること」です。したがって需要創造という言葉を用いるおせば「商品を欲しがらせること」といえるでしょう。

いま一般に消費者は豊かです。どうしても

必要なものというのは、すべて持っていると考えていいようです。ちよつと極端な言い方をすればサイフの中にお金をいっぱい入れて、さて何に使うか、とウロウロしている状況が現在の消費者の姿です。

もし欲しいとなれば、何十万円もするステレオでも、何百万円の自動車でもクレジットなどを利用して案外容易に手に入れられるのが現在の日本の消費者です。逆にいえば、欲しいと思えば相当高くても買ってくれるのです。このような消費者に対して安さだけを訴求しても無駄なことはおわかりでしょう。とくにバイク業界については、必要があつて実用性だけで購入しようとする顧客の数は、ずいぶん少なくなっているハズです。オートバイに関しては、より高度なデザインや性能、ファッション性などを訴えなければ、消費者は欲しいという気持ちも起こさないのです。

## 売るための

## 3つの条件

さて、それでは以上の考え方を実現するた

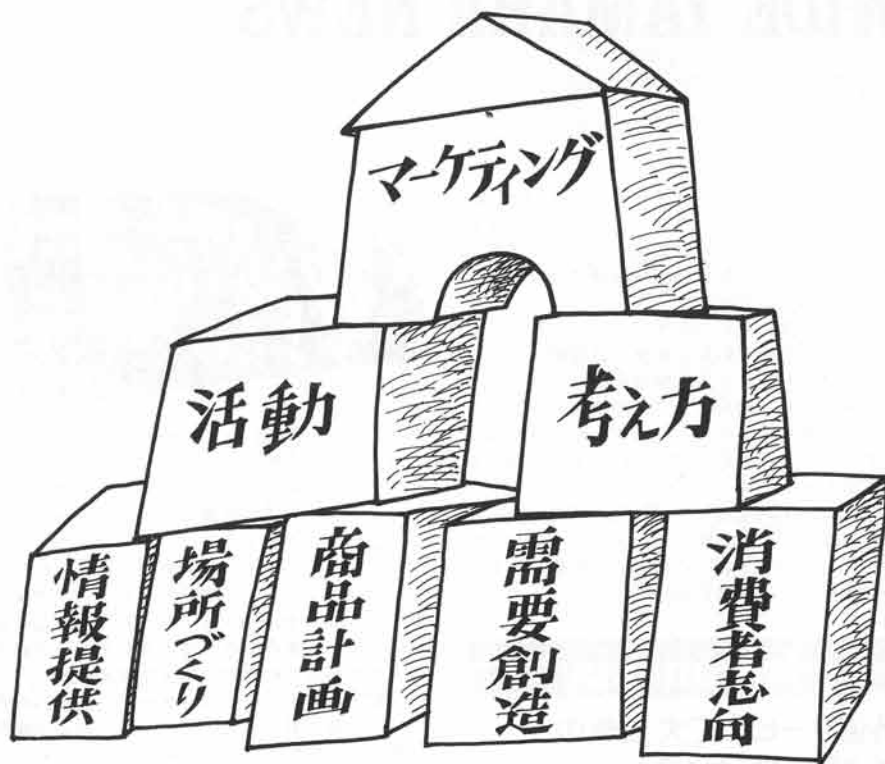
めに販売店としては何をしなければならぬか、つまり売るためにはどうしたらいいのかを考えてみましょう。ここで、「売るため」と考えるよりは、お客さまの立場に立って、どうしたら「買うか」を逆に考えてみましょう。

第1は、よい商品があるということです。第2は、買いやすい場所であること、そして最後がお客さまとしてそれを知っていることです。売れるということは、この3つの条件を満たしていればよいのです。別の言い方をすれば、売るための方法は、要約してみればこの3つだけということになります。この他の方法としては義理や人情からめて欲しがっていないのに強引に売りつけてしまつとか、押し売りがありますが、これらは正常な取引ではないので除外して考えていきます。

マーケティング活動というのは、お客さまが買いやすいように、以上の3つの条件をととのえること、といえるでしょう。それでは、以下の各項目について考えてみましょう。

### 1、よい商品を揃える

まず第1はよい商品を揃えることですが、メーカーにたとえると自社で製品を作ること



で、これを製品計画といえます。小売店の場合は仕入れをおこなうことが、これにあたります。よい商品を揃え、消費者に提供する。ことが基本となります。これを商品計画と呼びます。

オートバイという商品が多様化していることは、ご存知のとおりです。ファミリー、スクーター、ビジネス車、オンロード車、オフロード車とあり、ウェアや用品類も多種、多様なものとなっております。これらすべて揃えることは、とうてい無理です。

したがって自分のお店に合った商品、お客さまにより好まれる商品を揃えることがオートバイ販売店にとっての商品計画といえるでしょう。本誌2月号で述べた目標の段定に従

った商品計画の展開が必要になるわけですね。修理なども無形ではありますが立派な商品であることを忘れないでください。

## 2、場所づくり

第2は買いやすい場所づくりです。買いやすいということには2つの内容があります。ひとつは、近くて便利、行きやすいなど物理的な面です。これは前に述べた店舗の立場に関連しますが、やはりよい立地が有利なことはいうまでもありません。もうひとつの内容は心理的に買いやすい場所にするということです。

これには店舗の内装、外装、陳列などが含まれており、お客さまが買いやすいような場にする必要があります。オートバイの販売店は昔に比較すれば、ずっときれいになり、良いお店がふえているようです。しかし、お店という器が良くて、日頃からの気配り方次第で、とんでもないお店になってしまうこともあります。入りやすさとは、お店の対応も含めて、お客さまに対する総合的な気配りのことです。

## 3、存在を知らせる

マーケティングの最後の条件は、お客さまにお店の存在、商品の存在、その良さを知らせることです。これは情報提供の活動です。こういうものにお金や神経を使うのをやめて、良い商品をマジメに売っていればいつかはお客さまもわかってくれる。という考え方を持っているお店もあるようですが、それでは目まぐるしく変化のお客さまの要求や刻々と変わる商品に対応できません。こういう時代こそ変化に応じた情報を知らせてあげることが大切なのです。

さて、その情報伝達方法ですが、大メーカーであれば広告ということになります。小売店でも広告が使えないわけではありませんが地域的にも限定され、限られた予算の販売店では大規模なテレビCMや新聞広告活動は一

部の大型店以外では無駄も多く、効果も高いとはいえません。いつも使うものとしては、チラシやダイレクトメールが中心になります。その他に看板や店の外装、陳列、各種カタログやパンフレット、そしてお店の人の説明があります。こういうものを総合して活用していくのが小売店の情報提供活動です。

## 情報の重要性

最近では、小売店の役割としてこの情報提供活動が大きく見直されてきています。商品の存在については、各メーカーが広告活動などを通じて、活発に消費者に耐えています。

しかし、現在のように商品の数がふえて来ると、メーカーとしてもすべてに渡って情報を知らせることができなくなってきます。このため消費者としては、多種多様な商品を目の前にして、どうしていいのかわからなくなるといふ傾向が出てきます。

しかも消費者にはそれぞれ個性があり、好みも多様です。こういう状況では、メーカーから送られる大量で画一的な情報だけでは不十分です。一人ひとりが、何を必要とし、何が適しているかを店頭で販売店が教えていくことが要求されているのです。

したがって、伝える内容も商品をただ網羅するだけではなく、それぞれの商品をどのように使えばいいのか、どのような特徴があるのか、を明確に出すような訴え方が望まれています。

## できる事から確実に実行を

以上、販売店にとってのマーケティングについて考えてきました。理想としては、これらのことをすべて完全に実行することです。しかし、それは現実には不可能です。したがって、どこかに力を入れ、他は力を抜くことが必要になります。そのためには、これまでやってきた現状の分析、目標の設定が必要となります。



# WORLDWIDE YAMAHA NEWS

## Guam

### 大モテのヤマハ・ポリスバイク 22台のXJ550PLが納入

ヤマハのポリスバイクを愛用している国は数多いですが、こちらは観光ルートとしてあまりに有名なグアムのお話をひとつ。実は、この写真は今年9月にグアム



ム政府へヤマハ・ポリスバイクXJ550PLを22台納入したときのひとコマですが、グアムでは来た12月にも25台のXJ550PLを納入予定。最終的には125台のヤマハ・ポリスバイクが納められ、グアムの治安を守るために活躍することが決まっています。

バトカーに比べてポリスバイクは経済的で効率もよい。とのグアム政府知事ボルダロ氏のひとことで実現したこの納入劇。一方、納入元である横須賀ヤマハさんの努力も見逃せず、今回の納入にあたっては現地販売店の協力のもと、リペアサービス、スペアパーツの供給など一連のアフターサービス体制を充実。さらに、技術要員として現地メカニックに加え、日本からもスタッフを派遣するなど万全な体制を築いているのです。

## Colombia

### IPC運動の成果がこれ！ トランスミッション利用の組立ライン

ヤマハのIPC運動についてはすでにご紹介していますが、もういちどこで復習すると、「I」がインブループメント・オブつまり「改善・



向上」、「P」はプロダクティビティ＝「生産性」、「C」はコミッティ＝「委員会」の略で、「全員参加で自主性に基く生産性向上をめざす小集団グループが中心となり職場の管理・改善を行なう運動」のことです。

で、何が言いたいのかということ、ここコロンビアでもIPC運動がいま盛んに展開され、この秋にはなんとRX100(輸出用バイク)のトランスミッションを利用して、手押し式の組立ラインを自動化することに成功。生産性を50%もアップして、売り上げ向上に大きく貢献しているのだそうです。

写真は、その組立ラインの動力部で、奥が電動モーターで、手前がトランスミッション。動力を介すチェーンもバイク用で安全装置付きというから、ただ脱帽するばかりです。

## Indonesia

### 迅速サービスで大人気の 水上ワークショップ

商売は1にサービス、2にサービス……といわれていますが、そのよい見本といえそうなお話がこちらのお便り。

インドネシアといえばスマトラ島をはじめジャワ島、ボルネオ島などの島で構成されている国。そして、その島じまには無数の川が流れており、人びとにとって水上のトランスポート手段は欠かせないものとなっています。

ここスマトラ島の内陸部に位置するバレンバンでも、住民のほとんどは40馬力の船外機を搭載した木造船を愛用。1日平均5～6時間を全開で走るのだそうです。しかし、彼等の最大の悩みが、川を流れる流木などの浮遊物によるプロペラ破損などのトラブルでした。

と、ここまで説明すれば、もう結論はおわかりでしょう。そうです、写真の水上ワークショップは、そうした悩みに応えたサービス活動のひとつ。もちろん評判も上じようで、ヤマハ船外機の拡販に大きな成果を上げているのです。



## Australia

### ビッグ市場を相手に意欲を見せる 新進気鋭の現地販売会社YMA

ヤマハの外国現地販売会社といえば、アメリカのYMUS、カナダのYMCA、オランダのYMNV、



ブラジルのYMDB、そして今年7月に設立したオーストラリアのYMAの5つですが、そのYMA(ヤマハ・モーター・オーストラリア)からさっそくスタッフの写真が送られてきたのでここにご紹介しましょう。

オーストラリアでは最大市場ともいわれるニューサウス・ウェールズ州のシドニーに本拠を置いたYMAの総勢は43名。今回のYMA設立の狙いは、①二輪車の販売・普及活動の充実②船外機、特機商品の販売網の開拓③部品部門、サービス部門の拡大によるユーザーサービスの充実——に主眼を置いたもので、7月1日より業務を開始。年間売上上げ35億4000万円を見込んでおり、早くも成果を上げているものです。

## South-Africa

### バイクの消エネ・レースで XT550が総合優勝に輝く！

バイクにまつわる競技といってもいろいろですが、このほど南アフリカ共和国から送られてきたレポートは、エコノミーラン・レースのお話です。

南アフリカ共和国の首都ヨハネスブルグから南へ150km下ったハリスミスという町をスタートし、南海岸のサン・ラミーという町でフィニッシュするというこのレースは、都合1210kmの距離で行なわれたもの。AからHまでの8クラスには、総勢87名のライダーが出場し、燃費の良さを競い合ったのです。

そして結果は、クラスC(500cc～720cc)でエントリーしたXT550のキース・ブルフォード氏が、2.41ℓ/100kmの記録で総合優勝を果たした。またクラスD(720cc～890cc)でも、XJ900のトニー・マーチン氏が優勝するなど、ヤマハ車の省燃費性が実証されたのです。







●ヤマハニュースは、販売店みなさまの情報誌です。みなさまの積極的な誌上参加をお待ちしております。ご質問、ご相談なんでも結構です、お気軽にお寄せください。(〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機㈱ 営業部宣伝課「ヤマハニュース」係 ☎05383(2)〜(内線2356))

# バイクフリーク 北海道に大集合!



トライアル、モトクロス、三輪バギーレースなどに参加した競技者は200名にも上った



豪快なYT175のレースに会場は大興奮!

〔北海道ヤマハ㈱〕 去る9月24・25の両日に渡り、SLサマーフェスティバルの最終イベントである「北海道モトリング」が、北海道の留寿都高原モトクロスコースを舞台に開催されました。

当日は、あいにくの雨空となつてしまったものの、冬の早い北海道でのシーズン最後のビッグイベントだけに、この日集まったバイクフリークは約1000名にも上り、サマーフェスティバルの最後を飾るにふさわしい堂どうたるミーティングとなりました。

この「北海道モトリング」ではモトクロス国際A級の吉原明正選手を主催によるラリーが開催されました。

## 二輪車ラリーが大好評!

また24日におこなわれた前夜祭では、北海道名物のジンギスカン鍋を開き、クラブ交流会や各種ゲーム大会などのメニューを楽しみ、参加者はこの夏最後のビッグイベントを堪能しました。

このラリーは法定速度の関係からクラスを3部門に分け、指定区間を指定速度で走り、その正確度を競うもので、今回で第4戦を迎えました。今回の参加者は46名、回を増すごとに参加者も増え、クラブの輪も広がっています。

## 出足好調!日本サッカーリーグ後期戦 ヤマハサッカー部、初戦を勝利で飾る



10月16日にヤマハ東山グランドでおこなわれた日本サッカーリーグの後期戦でヤマハサッカー部が前期のトップ古河電工を2対0でやぶり首位へ王手をかける好調なすべり出しを見せました。

前期は10チームによる星のつぶし合いとなり、首位から6位までのチームがゲーム差という大混戦で終わっただけに、5位につけていたヤマハにとって、この勝利は大きいものとなりました。

正月の天皇杯獲得と、ジャパンカップでの日本代表を上回る好成績とで、チーム全体に弾みがついているだけに、リーグ制覇も夢ではありません。

このラリーを開催するに当って飯田社長は「クラブの定例行事として定着しましたね。ツーリングに飽きたユーザーや、ツーリングに参加できないユーザーには特に好評を得ています。毎回気を使うのはコースですが、昼に全員で弁当が広げられ、安全で景色の良いコース設定を心がけています。このラリー以外にもオフライや50ccによる耐久レース、一泊ツーリング等の企画をおこない、お客さまとのコミュニケーションを深めていきたいと思っております」と語ってくださいました。



お昼にみんなで弁当を広げるのも楽しみのひとつです





# 販売店の輪「YES」がトライする 新アプローチ

〔ヤマハ南東京株〕 ヤマハ南東京株管内の販売店さん13店によって組織されるYES（ヤマハ・エンジンニア・ショップ）主催による、秋の清里高原を舞台にしたビッグツーリングが10月9日、10日の2日間に渡り開催されました。

お客さまにより快適なバイクライフを楽しんでもらおうと、販売店さ



当日はYES会員店である大平輪業、タサイモーターズ、安藤オート商会、浅井モーターズ、モトシヨップタグチ、野沢モーターズ、モトフリーカー・モリ、八田サイクル、(株)芝園モーターズ、アングル(敬称略)の11店の参加で、130名ものライダーが集まった



こんな場からも自然とコミュニケーションの輪が

ん単位のサービスマスターシステムを完成させたYESは、過去、伊豆大島へのソフトバイクツーリングや、秋川渓谷への大規模ツーリングを成功させており、今回もお客さま同志はもちろん、お客さまと販売店さんのコミュニケーションという主旨の

## 84名が参加した1店単独開催の「YRSサーキットラン」

〔ヤマハ西神奈川株〕 9月18日に静岡県袋井市のヤマハコースにおいて一販売店さんの主催としては全国でも最大規模のYRSサーキットランが梅田モーターズ（梅田勉専務）さんによって開催されました。

この日のYRSサーキットランに参加したライダーは梅田モーターズさんのお客さまばかりで84名にも上り、なんと袋井コースまでの往復は大型バスを使用。バイク持ち込みのお客さまのためには、4トン積みトラック2台を用意するという大がかりなものとなりました。

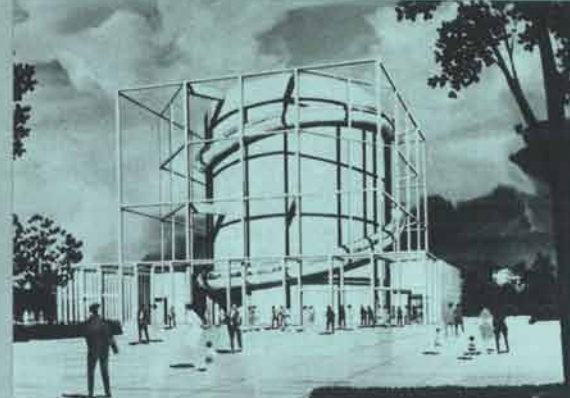
もと130名もの参加者を集め、バーベキューパーティ等で深まりゆく秋の高原を満喫しました。

このツーリングの企画に当たったYES会長の太平輪業・山口玩一社長は「YESの会員店で買ったバイクであればどの会員店でも、買ったお店と同じサービスが受けられるという共同サービスマスターシステムと、販売店同志の情報交換等がこの会を発足させた最大の理由ですが、これからの商売として、部品、用品を含む販売・修理にプラスして、バイクの楽しみ方、バイクレジャーのお客さまへの訴求も見逃せない大きな要素と考え、このツーリングを企画しました。みんなで走ることの楽しさをお客さまに理解してもらおうと思っただけです」と歯切れの良いお言葉。全国でもめずらしい販売店さん同志がつくったお客さまへのアフターフォローシステムで、これからの新しい販売店のあり方を目指すYESでした。

りなものとなりました。

このYRSサーキットランを企画した梅田モーターズ・つきみ野店さんの高橋店長は、「オートバイ販売と安全運転の普及は切り離せないものだと思っています。ウチがライディングスクールに積極参加したのは昨年からです。はつきりいつて1年遅れたという感じですね。これからは各営業所のツーリングクラブなどにも呼びかけて、いろんな形での安全普及を図っていききたいと思っています。」

## 「科学万博つくば85」からの話題



社団法人日本自動車工業会（石原俊会長）は、昭和60年3月から同年9月まで茨城県筑波学園都市で開催される国際科学技術博覧会に「くるま館」（仮称）を出展します。

この「くるま館」は、「自由なモビリティを求めて」をテーマに、これからのクルマ社会や先端技術の発展等を通し21世紀におけるクルマの魅力を示す「スペースハイウェイ」「スペースシネマゾーン」「カーテックプラザ」「ハーモニー・スクエア」の4部で構成され、スベースライダーに乗っての空中ドライブなどが楽しめるものとなっています。

また来年中には1年以上の販売経験を持つウチの社員にも全員準指導員の免許を取ってもらい、売る側の

安全運転意識の高揚も考えています」と、安全運転意識の啓蒙の重要性を語ってくださいました。



7つの営業所から集まった参加者は86名にも上った



広い袋井コースでノビノビと練習する受講生





# 手作りで大好評! イラストツーリングマップ

〔ヤマハ名古屋機働高山出張所〕 山国・飛騨の中心地、高山市にあるオドリモーター（小鳥善治郎社長）さんが、高山市を中心としたイラストツーリングマップを作り、ツーリングファンの間で大好評を得ています。このツーリングマップは小鳥社長が今まで走ったコースを半日、1日、1泊2日の3章に分けて構成したもので、下書きを小鳥社長が担当し、イラストマップを店頭スタッフの太向今日子さんが書き上げたというまったくの手作り品です。

マップにはツーリング経験の豊富な小鳥社長によるひと口アドバイスや季節的な見どころなども紹介されており、7月に作られた50冊が8月末には品切れという大モテぶりです。ちなみに頭初は無料配布を考えて



↑左からサービスの中村さん、小鳥社長、奥さまのみやこさん、マップを書いた太向さん  
→イラストとひと口アドバイスで楽しく読めます



## '83 OSAKAカーフェスティバル開催

〔ヤマハ北大阪機働〕 大阪駅の国鉄貨物駅引込線にあるアクティ大阪西広場にて、9月15日から19日までの5日間、「'83 OSAKAカーフェスティバル」が開催されました。

このフェスティバルはサンケイ新聞社が主催したもので、ヤマハをはじめ4輪メーカーや中古車販売会社など38社が協賛した大規模な中古車フェスティバルです。

期間中、会場ではパッソルIIが当るお楽しみ抽せん会や大学対抗マンザイカーニバル、ユーズオークシヨンなど数かずのイベントが用意され、のべ8万6千人もの入場者を集めました。

また、800台もの4輪中古車が展示される中、ヤマハからはスポーツバイクをはじめとする52台の最新車が展示され、4輪コーナーに負けないう賑いを見せオートバイブームの一端をここでもうかがうことができたのです。

## 広島県のヤマハフレンド店が 親睦ソフトボール大会を開催



〔ヤマハ西中国機働広島営業所〕 秋たけなわの10月16日(日)に、広島営業所と東広島営業所管内のヤマハフレンド店さん80店が集まり、東広島市志和町グラウンドにて、「ヤマハフレンド店親睦ソフトボール大会」が開催されました。

この広島地区のフレンド店さんと



## 用品主体の店頭展示会で大成果!

〔ヤマハ九州機働福岡営業所〕 福岡県の中心地・博多にあるモーターランドフジモト（藤本光彌社長）さんが、去る9月10日から15日までの6日間にわたり、用品にウェイトを置いた店頭展示会を開催し、大成功を納めました。

この展示会は、ライダーの用品に対する関心が高まりつつある現在だけに、まさに的を得た企画として大きな成果をあげたものです。

期間中の売り上げは、展示用品の総額の75%にもおよび、さらにオートバイ本体もRZ/Rをはじめとし20台の実販を上げ、福岡営業所へは周辺の販売店さんからの開催要望が殺到しています。

また期間中には、ヤマハワークス

客さまと揃って大応援団を送り込むほどの野球狂ぞろい。今期は惜しくも優勝を逃したカーブですが、そんなものに負けてたまるかと、この日集まった参加者は140名にも上り、JOGチーム、アクティブチームなどヤマハスクーターの名前を取った8チームに分かれて、熱気の中でゲームが展開されました。

この日は、東広島地区のフレンド店さんからなるベルUGチームが健闘し、見ごと優勝を飾りました。また怪休みには、ヤマハ奥さまと子供たちだけの紅白戦なども実施され、家族そろって秋の一日を存分に楽しみました。そして、参加したフレンド店さんたちからは、「来年は春と秋の2回ぐらいはぜひ、このソフトボール大会を実施してほしい」という要望が多く、まずは大好評のうち







# 情報スクランブル

## 日本人はスポーツ好き 「やる人」4千万人に 総理府調査

〔日本経済新聞 10月8日〕

わが国のスポーツ人口は4千万人で十五才以上の半数近くが、スポーツ志向。ゴルフは三十才代が最も盛ん——という「国民のスポーツ活動に関する実態調査」を七日、総理府がまとめた。男子は野球・ソフトボール、女子はバレーボールが盛んで、国民を平均すると一日当たり一人十分間は必ずスポーツに費しているという結果が出ている。

人気があるスポーツは男子が野球・ソフトボール、ゴルフ、卓球の順。女子はバレーボール、テニス、卓球の順。

男子の場合、野球・ソフトボールはどの年齢層でも人気が高く、中年になっても野球をする率が高い。今や「国民的スポーツ」の地位を占めつつある。サラリーマンを中心に人気のゴルフは、三十才代で二三・九%とピークとなっているが、高齢になっても他の種目と比べて低減ぶりがゆるやかで、「中高年」に

も適したスポーツといえることができる。女子についてみると、どの種目も若年層でのみスポーツ人口が高い傾向が強いが、唯一バレーボールだけは、三十才代でも人気を保っている。

スポーツ活動時間（実際にスポーツをした人だけの平均）は、男子が十五―四十九才までが日曜日に三―四時間、女子は三十一―四十才までは男性並みに日曜日に三時間程度している。六十才を過ぎた男女は平日でも一時間から二時間はスポーツをしている。

## 冬のバイク、フル生産 国内で普及の兆し ヤマハのスノーモビル

〔静岡新聞 9月28日〕

冬シーズンを前にして、ウインターレジャーの花「スノーモビル」の生産が、バイクを迎えている。国内で唯一、スノーモビルを生産しているヤマハ発動機では、84年ニューモデルがフル生産、工場から続々と出荷されている。

スノーモビルは「冬のバイク」といわれるようにスピード、スリルという現代的な感覚

から、わが国でも普及の兆しをみせている。しかし、主力はなんといっても米国、カナダで、この二ヶ国で全需要の80%強を占める。国内では雪原の広がる北海道、東北で国内保有台数は約三万台。冬のスポーツ、レジャーとして定着するのはまだこれからだ。

## マリン・レジャー豪華に楽しもう '84ヤマハ新艇、基本性能大幅アップ

〔サンケイスポーツ 9月29日〕

マリン・レジャーが、若い世代にはもちろん、アダルト層にも受けて、モーターボートを始め、豪華なクルージング、反対に最も手軽なウインド・サーフィンなど、人気は確実に上昇中だ。各メーカーや輸入業者は、毎年3月に東京、大阪で開かれる大々的なボートショーに、ご自満の新艇をはじめ、新製品を出展しているが、ヤマハ発動機では、これに先がけ、今月上旬にヤマハマリーナ浜名湖で'84ヤマハ新艇発表会と試乗会を行った。

ヤマハが84年向けに、新艇の発表と試乗を開始したのは合計14艇種。うちニューモデルは、パワーボート3、フィッシングボート2、ローボート、クルーザー、ディングー各1の

計8艇。ひと言でいえば、新艇開発の狙いは走行性、操船性、居住性の3点の基本性能のアップ。

## V型6気筒エンジンを採用 ヤマハが新船外機

〔日本工業新聞 9月30日〕

ヤマハ発動機（社長・江口秀人氏）は二十九日、国産モデルとして初のV型六気筒エンジンを採用した船外機「二二〇AETO」を含むV6シリーズ四機種を完成し、十月一日から発売すると発表した。

この船外機は、国産最大の二百二十馬力の「二二〇AETO」から百五十馬力の「一五〇AETO」までの四機種。いずれもマリンレジャー用として開発したヤマハ船外機の最高級モデル。スムーズな加速性能と耐久性に優れたV型六気筒エンジンを採用したほか、①運転状況に応じた適正なオイル量を自動的に供給、オイル切れによるトラブルを防ぐ警告システムを採用②点火時期を制御するマイコンを船外機に初採用③高性能プロペラを装着した一など。

国内販売台数は年間六百台を予定している。

# YAMAHA NEWS '83/11 No.245

★もくじ★



'83全日本選手権シリーズ第11戦・第20回MXGP

走り快調ノヤマハスクーター

JOG & アクティブニューテレビCFご紹介

〈特集〉いま巻き起こるニューヤマハ旋風  
'83パリショー・グラフレポート

5 4 2

ここに期待ノスポーツショップが語る'83パリショー評価  
話題騒然ノセンサーシヨルに評価した内外二輪専門誌

社長さん・ヤマハマン対談⑩ パートナリシップで行うノ

南星商会・櫻井富士男社長（京都市北区）

ヤマハ奥さま登場⑪

ヤマハ東大阪東営業所管内

おめでどうノカラ—— ヒーローインタビュー

ハカン・カルピスト選手、大いに語るノ

ハローノキング

ケニー・ロバート選手インタビュー

第7回ジャパンカートグランプリ

杉山茂雄（ヤマハ）が2年連続で栄冠を獲得ノ

第11回TBCビッグロードレース

キング・ケニーが世界GPさながらの走りノ

3万6千人の大観衆を魅了

18 17 16 14 12 10 8

さあ冬、活躍ときノ  
ヤマハ・スノーモビル&除雪機

インフォメーション・フロム・ヤマハ

大田克彦の「一緒に走ろうノ」⑪

今月のゲストノ戸井十月さん

センスUPコーナー

販売店経営講座⑫

理論編・ストアマーケティングの考え方

ワールドワイド・ヤマハニュース

ヤマハ・トビックス

パーツ&アクセサリ⑬

ヤマハバイクウエア'84モデル

ショールーム拝見⑭

ライダーズハーバー・カナヤさん（兵庫県神戸市）

最新の広告活動ご紹介

36 34 33 29 28 25 24 22 21 20



## お揃いですか?! ヤマハのブルゾン & ジャケット

### ヤマハバイクウェア'84モデル発売中!

冬を前に、皆さまのお店ではウィンターグッズのご用意、お済みでしょうか。そろそろ、お客さまにおいては防寒ウェアを必要とする季節です。この機に、ヤマハのバイクウェア'84モデルをお揃いいただき、バイク本体とのセット販売にお力入れくださいますようお願いいたします。

#### チームヤマハSPジャケット

●素材/表=420ナイロンオックス(アクリルコーティング)、中綿=アルミサンステート、裏=ナイロン ●サイズ/M=90890-50185、L=90890-50186、LL=90890-50187 ●価格/¥24,000。



#### レーシングブルゾン

●素材/表=ロDESTAター、中綿=サンステート、裏=ナイロン ●サイズ/M=90890-50208、L=90890-50209、LL=90890-50210 ●価格/¥21,000。

#### ライダーズクラブSPジャケット

●素材/表=420ナイロンオックス(ウレタンコーティング、耐水圧1000%)、中綿=リフレテックス、裏=ナイロン



●サイズ/M=90890-50220、L=90890-50221、LL=90890-50222 ●価格/¥24,000。



#### チームヤマハブルゾン

●素材/表=210ナイロンオックス、中綿=サンステート、裏=ナイロン ●サイズ/M=90890-50191、L=90890-50192、LL=90890-50193 ●価格/¥15,000。

#### チームヤマハSPブルゾン

●素材/表=420ナイロンオックス(アクリルコーティング)、中綿=アルミサンステート、裏=ナイロン ●サイズ/M=90890-50188、L=90890-50189、LL=90890-50190 ●価格/¥22,000。

#### ライダーズクラブSPブルゾン

●素材/表=420ナイロンオックス(ウレタンコーティング、耐水圧1000%)、中綿=リフレテックス、裏=ナイロン



●サイズ/M=90890-50211、L=90890-50212、LL=90890-50213 ●価格/¥22,000。



●サイズ/M=90890-50214、L=90890-50215、LL=90890-50216 ●価格/¥22,000。



●サイズ/M=90890-50217、L=90890-50218、LL=90890-50219 ●価格/¥24,000。

※以上の商品のほかにも、ヤマハバイクウェア'84モデルは各種取り揃えてございますので、詳細は担当パーズマンまでお問合せくださいますようお願い致します。



## ライダーズハーバー・カナヤ/金谷秀夫社長

兵庫県神戸市東灘区森南町1丁目7番8号 ☎078(431)0211

昭和57年4月10日にオープンした『ライダーズハーバー・カナヤ』さんは、4階建てビルの1階の、もと四輪のショールームを改装してテナントとして入ったお店です。

149㎡のお店は、ガラスで仕切られた17㎡のメカニカルサービスコーナー、33㎡のお客さまコーナーと用品コーナー、そして99㎡のショールームの3コーナーに大きく分けられ、スポーツごころあふれた演出がお客さまの人気を集めています。



国道2号線に面したお店には、視認性を高めるため大きなテントが付けられている。

→ショールーム内の真ん中にデンと構えた柱には、レーザー、用品の展示と蛍光カンパンでアクセントをもたせて、お店のワンポイントに変身。その右手奥は商談事務カウンター

↓販売店店主としては何をすることも新しい発見ばかり、これからも意欲的に商売をしたいですね」と語る金谷社長



→ショールームからもひと目で整備の模様が確認できる



↑オートバイファンを作るためにも必要なお客さまコーナーにはビデオが置かれ、レースビデオなどが用意されている。奥は用品コーナー

←12㎡のメカニカルサービスコーナーにはリフトガー台、タイヤバルancerなども設置



ビルのテナントという限られたスペースをうまく生かしたお店

# ガラス張りのサービスコーナーで お店の技術力を清潔にアピール!

## ●ショールーム中央の柱を お店のワンポイントに

阪神電鉄・深江駅から徒歩7分、大阪・九州を結ぶ国道2号線沿いの交差点に面しているところに、『ライダーズハーバー・カナヤ』さんがあります。

周辺は住宅地と商業地、そして甲南大学があるのでヤングから40代のアダルトまでと、ユーザー層が広く、ニーズもスポーツが60%というスポーツバイク主流のお店です。

港町神戸でのライダーの停泊港という意味も含めて『ライダーズハーバー』という名前です。スタートしたお店作り、ビルのテナントの限られたワンフロアをどのように活用し、演出するかが一番苦心したことだ、と金谷秀夫社長は語ります。

「レースを辞めてからもヤマハファンとのつながりを断ちたくなかったのが、自分の店を持つきっかけでしたね。」

現在の場所は友人の紹介で決めたのですが、今までの店内にぎっしり詰まったバイクショップ・イメージを脱することが第1の課題でした。その点、もと4輪のショールームのこのスペースは、通りに面した広いウィンドが売り物だっただけに最高。しかも主要産業道路沿いで、陸運事務所にも10分と立地条件にも恵まれ、満足しています。

反面、ビルのテナントということから、土地の上に建てた1店舗のお店と較べると被視認性が悪い。ショールームも広さと形が限られているため、その中で販売店として必要な





もと4輪ショールームということで通りに面したウィンドは広く、ショールームの床に敷かれたグリーンベルトは、お客さまを自然に誘導する

### 店舗

私がオートバイを買うなら、ライダーズハーバー・カナヤさんのようなお店で買いたいと思います。でも、その理由は私にもハッキリわかりません。けっして金谷社長がヤマハのワークスライダーであったからではなく、お店のこういう所が気に入ったからというのでもありません。ただ、なんとなく、このライダーズハーバー・カナヤさんには信頼感が漂っていて、ウソのないお店に思えてならないのです。

このように、お店とお客さまとの間には、暗黙のコミュニケーションが交わされているもので、お店を構えるにあたっては、この点を最も重視しなければならぬことは確かです。

では、何をしてお客さまとの良き暗黙のコミュニケーションが交わされるお店になるかという点、結論的には店主の方がたの人柄にかかってくると思います。たとえば、どんな演出をしようとしても、最終的には店主の人柄が環境や雰囲気を作ってしまう、お客さまに暗黙の情報を送ることになるからです。大企業として、TOPの匂いが隅すみにも感ずる場合がありますが、それと同じです。

株主・バイ・デイ ヤマハ店舗相談室

伊藤 隆蔵

要素を盛り込み演出をしなければいけないという難しい面もありましたね。

まず外からの被視認性を高めるといことはビルオーナーの好意もいただき、店名とイラストの入った大きなテントをビルの角に掲げました。

一方ショールームは、商談コーナー、お客さまコーナー、用品コーナーを盛り込むと同時に、中央にある太い柱をお店のワンポイントとするため、レーサーの展示と、それにからめた用品展示でアクセントをつけたのです。

### ●ショールームから見られる 明るいメカニカルサービスクーナー

販売店の中のメカニカルサービスクーナーは欠くことのできない設備のひとつでもあります。ワルルームのテナントの中に設けると、ともすればショールームを狭くさせてしまったり、また整備中にショールームに漏れる音量等の問題があります。

そこで「ライダーズハーバー・カナヤ」さんでは、メカニカルサービスクーナーの仕切りを12mm厚のガラスとして音漏れを防ぎ、ショールームと一体化した「見えるサービスクーナー」の演出を行なっています。

「以前から整備というものは、お客さまの目に見えるところで行なわなくてはいけないと考えていました。」

つまりお店は「お客さまの愛車に対してこのように接しているんだぞ」ということをアピールする必要があると思うんです。

それをショールームに入った時に自然に見せられればということで、ガラス張りのメカニカルサービスクーナーを考えついたのです。初めてのお客さまでも、ショールームから清潔なイメージでお店の整備力を見れるので、安心して購入いただけるわけです。また、購入後もオートバイに対してより深く理解していただけることなど、その他にもメリットは大きいですね。

今後もヤマハオートバイファンをこのハーバーで受けとめ、広げていきたいですね」



— 真のエンジン・ジャストたちのために —

サーキットのTZも、ロードのRZ-Rも、  
ピュアスポーツの熱い血に  
変わりはありません。

# RZ250R・RZ350R



2ストローク・エンジン・ジャスト諸兄のために、  
今日はともう一枚のニュースをお届けし  
よう。83年ロードレース世界選手  
権250ccクラスでTZ250  
を駆るカカロス・ラッ  
ードが大健闘。第3  
戦、第4戦、そして第7  
戦、第8戦を優勝して飾り、  
最終戦スウェーデンGPを  
待たずしてワールドチャンピオ  
ンの栄光を獲得するという快挙を  
成し遂げたのである。

言わずがなの話ではあるが、我らがRZ  
-Rの“心臓”には、この世界最速を体証した  
TZと同じ血が流れている。基本コンポーネン  
トを共有のベースとして開発されたエンジン、そして強  
力な水冷システムなど、TZからフィードバックされた技  
術は枚挙にいとまがない。いわば常に世界をリードする  
ヤマハ・レーシングテクノロジーと、4半世紀にも及ぶヤマハ  
の2ストロークエンジンリングの結晶として生まれたのがRZ-R。  
それはスーパー・スポーツを超えて、ライダーをピュアスポーツの領

域へと導いた。それはRZ-Rだけが可能にした、まさに“様”になる世界なのである。

双生児と呼んでも不思議のないTZとRZ-R。この兄弟の相違点は、その本領を発揮する場所の違いであろうか。専ら  
サーキットを舞台とするTZとは異なり、RZ-Rはハイウェイから市街地の渋滞  
までをこなさねばならな  
い。従ってハイパワーと中低速のトルクを両立させるY.P.V.S.にはTZ  
250にさえ標準装備されない電子制御式を蒙られるなどある意味  
ではTZ以上にきめ細かいマシニング造りがなされている。もちろん  
走りのポテンシャルが兄弟分に決してひけをとらない事は、  
既報のRDカップレースなどで実証済みだといえるだろう。

かつて“ベネズエラの星”と称えられたジョ  
ニー・チェコットが4輪レースに転向したあとのベ  
ネチコットチームから、2人目のワールドチャンピオンが生まれました。

カカロス・ラバード、27才。76年RD400でロードレースに参戦して8年目  
の快挙であった。そしてそれは、ヤマハ2ストローク・ツインの実績とポテンシャル  
が、またひとつ、モータースポーツの歴史に新たなウイニングレシーブを  
刻み込んだ瞬間でもあったのである。ピース。

**2-STROKE LIQUID-COOLED Y.P.V.S. RZ250R** (RZ350R) 仕訳済 定額270  
千円・小売44万円・247cc (347cc) ● Y.P.V.S. ● 最高出力44hp/9,500rpm (55ps/9,000rpm) ● 最  
大トルク23.4kgm (8,500rpm) (14.4kgm/9,000rpm) ● 電圧 (標準) 6C.D.L. 山本 ● ターン式6段 ● ユーリ  
ンクスモーター・ベネチコット ● 1977年モデル・装置のモーター・フロント・エンジン・ニュー  
パイプ・エンジン・クランクシャフト・300cc・ニュー・ヤマハ・プロダクト・ニュー・マ  
ン・プロダクト・ニュー・マシニング・ニュー・マシニング・ニュー・マシニング・ニュー・マシニング

**YAMAHA**



HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよういし。

55mph vol.3

もしあげま本題の吹く本、第3弾。  
「55mph vol.3」は、これまで以上に面白く、刺激的な内容です。55mph vol.3は、55mph vol.1、2に続く、55mph vol.3の第3弾です。55mph vol.3は、55mph vol.1、2に続く、55mph vol.3の第3弾です。55mph vol.3は、55mph vol.1、2に続く、55mph vol.3の第3弾です。

最新の広告活動ご紹介

■掲載誌：11月発売の二輪専門誌  
'83ロードレース世界選手権250ccクラス・シリーズで、TZ250を駆って見事チャンピオンに輝いたカ  
ルロス・ラバード。その栄誉をたたえてご紹介するのが、この二輪専門誌用広告です。11月発売のオ  
ートバイ、モーターサイクリスト、ライダーズクラブ、ザ・バイク、ベストバイク、サイクルワール  
ド等に掲載されます。